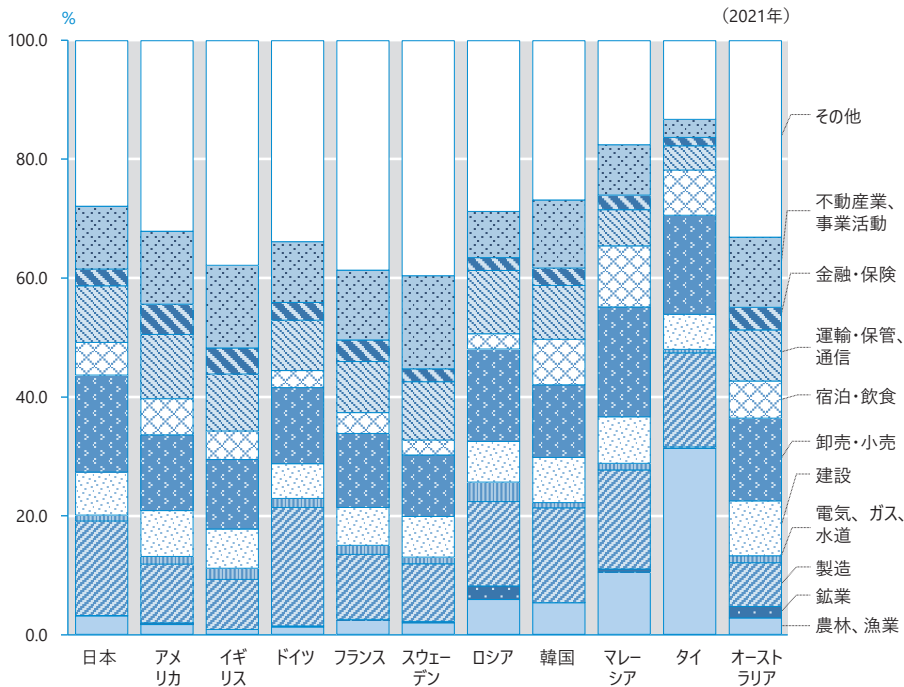


3

就業構造

Employment Structure

3-1 就業者の産業別構成比



[関連表](#) p.104～105 「第3-2表 就業者の産業別構成比」

経済の発展段階によって産業別の就業者構造の違いを観察することができる。いわゆる先進国と呼ばれる国々は、産業構造の重心を農林水産業から製造業、製造業からサービス業に移し、それに伴い、就業構造を変化させながら経済発展してきた。日本、欧州、北米、オセアニア諸国の傾向をデータでみると、いわゆる第3次産業である「電気、ガス、水道」「運輸・保管、通信」「卸売・小売」「宿泊・飲食」「金融・保険」「不動産業、事業活動」「その他」部門の割合が約7～8割に及んでいる。一方で、例えばタイでは、第1次産業である「農林、漁業」が3割を超え、製造業や建設業などと併せて5割強を第1次・第2次産業が占めている。

1 経済・経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業者・失業者の雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

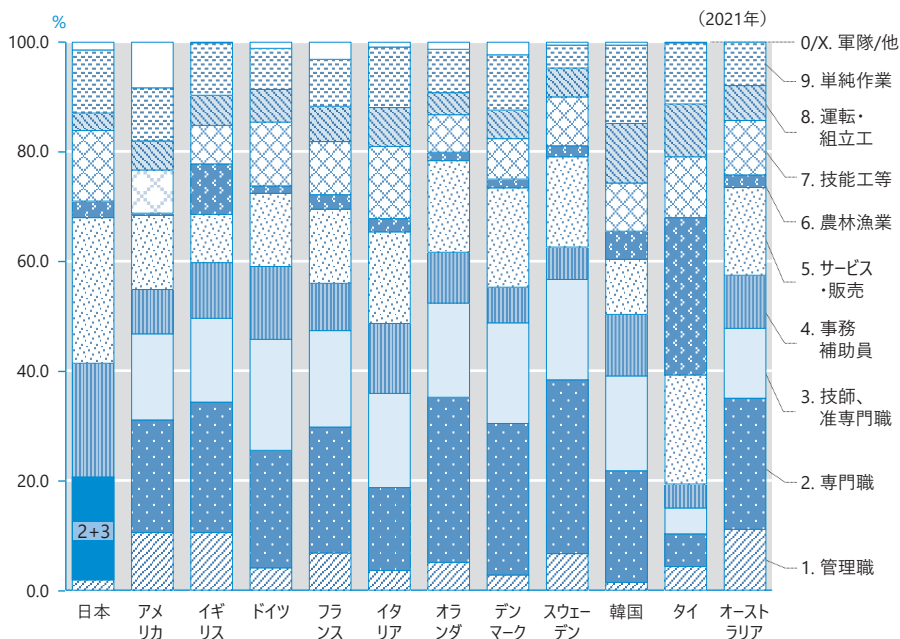
8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

3-2 就業者の職業別構成比



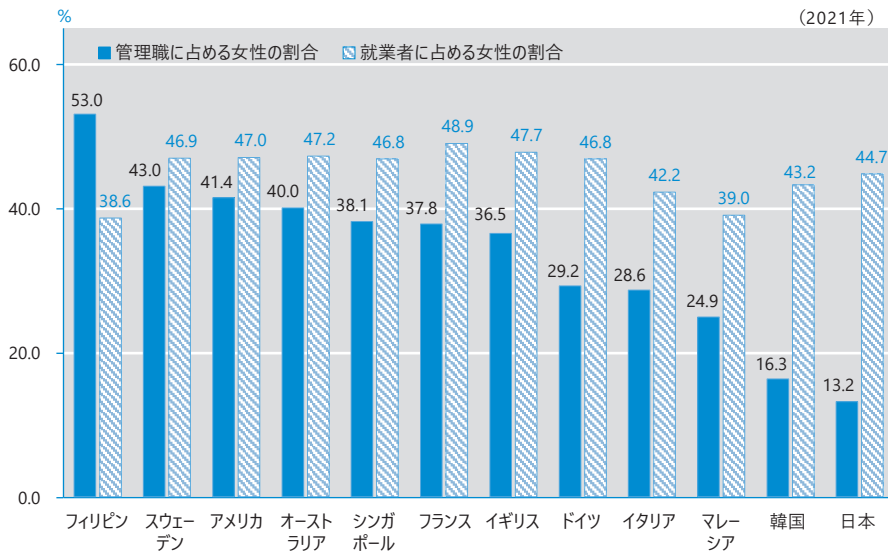
[関連表](#) p.128 「第3-5表 就業者の職業別構成比」

(注) タイ、オーストラリアは2021年。

国際標準職業分類 (ISCO) は、ILO が作成している職業分類の国際基準である。1987年に採択された第三版 (ISCO-88) は、第二版 (ISCO-68) とは異なる新しい分類原則を採用した。各職業において仕事を成し遂げるために必要な技術の類似性により職業を分類している。2007年には、ISCO-88の改定版である第四版 (ISCO-08) が採択された。

欧米・オセアニアの先進国では、「管理職」「専門職」「技師、准専門職」を合わせた割合が4割から5割前後にのぼるが、日本では2割にとどまる一方、他国と比べて「事務補助員」「サービス・販売」の割合が顕著に高い。こうした職種に関する捉え方や位置づけが、各国において必ずしも一様ではない可能性がうかがえる。

3-3 就業者及び管理職に占める女性の割合



関連表 p.117～126 「第3-4表 性別・職業別就業者数」及び p.129 「第3-6表 管理職に占める女性の割合」

(注) フィリピン、オーストラリア、マレーシアは2020年の数値。

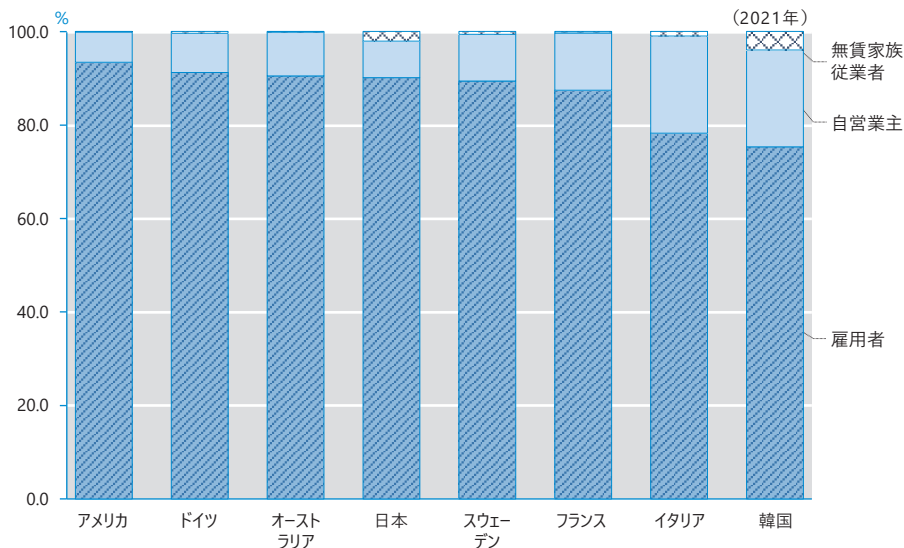
グラフの数値は上記第3-4表を基に算出。

全就業者に占める女性の割合は、フランス (48.9%)、イギリス (47.7%)、アメリカ (47.0%)、スウェーデン (46.9%) などの欧米諸国に比べて、日本 (44.7%)、韓国 (43.2%)、マレーシア (39.0%)、フィリピン (38.6%) などのアジア諸国の割合が低い。

管理職に占める女性の割合は、日本 (13.2%) と韓国 (16.3%) が、スウェーデン (43.0%)、アメリカ (41.4%)、オーストラリア (40.0%) などの欧米諸国のほか、フィリピン (53.0%)、シンガポール (38.1%) などのアジア諸国と比べても低い水準にとどまっている。ここでも、職種に関する捉え方や位置づけについての各国の違いが反映されている可能性に留意が必要である。

3 就業構造

3-4 就業者の従業上の地位別構成比



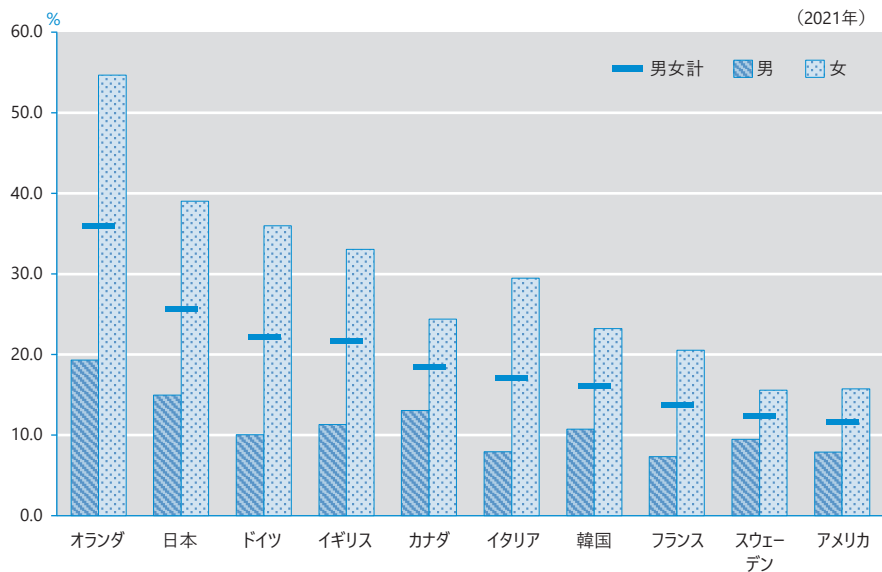
[関連表](#) p.130～131 「第3-7 表 従業上の地位別就業者数」(対就業者割合)

(注) 韓国は 2019 年。

従業上の地位は、私企業、官公庁などで賃金を得ている「雇用者」、人を雇用していないにかかわらず自ら経営を行っている「自営業主」、さらに「家族従業者」に分けられる。OECD 加盟諸国では「雇用者」の占める割合が高く、上図に掲載した主要各国でも大半が 8 割から 9 割に達している。一方、イタリアと韓国では「雇用者」の割合が相対的に低く、「自営業主」が 2 割を超え比較的大きなシェアを占めているのが特徴である。

従業上の地位別構成を時系列でみると、アメリカ、スウェーデンなどは 1960 年代に既に雇用者割合が 8 割を超えていたが、日本では、約 5 割(1960 年)、約 6 割(1970 年)、約 7 割(1980 年)、約 8 割(1990 年)と徐々に上昇してきた点が特徴的であり、韓国でも同様の傾向を示している。こうした傾向は、経済の発展に伴い主要産業が自営業や家族従業者が中心であった農林水産業から雇用者割合の高い製造業や、さらに雇用者割合の高いサービス業へとシフトし、それに伴って就業構造が変化する過程の一端を示している。

3-5 就業者に占める短時間労働者の割合



[関連表](#) p.132～133 「第3-8 表 就業者に占める短時間労働者の割合」

上のグラフは、通常の労働時間が週 30 時間未満の労働者を「短時間労働者」と定義し、就業者全体に占める割合（2021 年）を各国別・男女別に示したものである。ただし、国際比較にあたっては、短時間労働者の待遇の違いなど制度面に注意する必要がある。

いずれの国をみても、短時間労働者の割合は女性が高くなっていることが特徴である。短時間労働者の割合が最も高いのはオランダ(36.0%)となっている。

日本の短時間労働者の割合は全体で 25.6%と、ドイツ(22.2%)やイギリス(21.7%)とほぼ同等で、カナダ(18.4%)、イタリア(17.0%)、韓国(16.1%)、フランス(13.8%)などを上回る水準となっている。

男女別でみると、日本の女性の短時間労働者の割合は 39.0%で、オランダ(54.7%)、ドイツ(36.0%)、イギリス(33.1%)などと並んで高い。また、日本の男性の短時間労働者の割合は 15.0%で、オランダ(19.3%)に次いで高い水準となっている。

3 就業構造

第 3-1 表 産業別就業者数

Table 3-1: Employment by economic activity

日本 1)				JPN	アメリカ 2)				USA
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	67,240	66,760	66,670		計	157,538	147,795	152,581	
A	2,220	2,130	2,080		A	2,646	2,581	2,537	
B	20	20	30		B	515	480	418	
C	10,900	10,710	10,620		C	16,414	14,961	15,119	
D/E	610	660	680		D	1,330	1,311	1,314	
					E	737	679	676	
F	4,990	4,920	4,820		F	11,911	11,269	11,743	
G	10,880	10,850	10,880		G	19,652	18,764	19,495	
H	3,780	3,750	3,780		H	9,663	9,217	9,976	
I	4,200	3,910	3,690		I	10,540	8,467	9,288	
J	2,290	2,400	2,560		J	6,306	6,271	6,548	
K	1,890	1,880	1,880		K	7,792	7,936	7,707	
L	990	1,090	1,120		L	3,232	3,076	3,266	
M	2,400	2,440	2,520		M	9,170	8,653	8,815	
N	3,420	3,390	3,410		N	6,903	6,298	6,734	
O	2,460	2,510	2,530		O	5,439	5,532	5,544	
P	3,340	3,390	3,460		P	14,186	13,363	13,517	
Q	8,430	8,620	8,840		Q	22,259	21,255	21,777	
R	840	810	750		R	3,161	2,378	2,638	
S/T	2,040	2,010	1,970		S	4,382	4,169	4,305	
					T	821	655	659	
U	30	30	20		U	481	480	506	
X	—	—	—						

Item A to X: See "Table A: International Standard Industrial Classification of All Economic Activities (ISIC)" (p. 102-103).

注：各産業の分類区分A～Xについては、「A表 国際標準産業分類 (ISIC)」(p.102～103)を参照のこと。出典は本表末尾 (p.101)に記載。特に注記しない限り15歳以上が対象。

- 1) 自己使用のための生産労働者を除く。区分XはJILPTによる算出値。
- 2) 16歳以上が対象。

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

カナダ				イギリス 3)			
CAN				UK			
千人				thousands			
ISIC	rev.3	rev.3	rev.3	ISIC	rev.4	rev.4	rev.4
	2019年	2020	2021		2019	2020	2021
計/Total	18,986	17,999	18,865	計	32,795	32,509	32,407
A	337	327	299	A	342	312	278
B	22	23	20				
C	267	236	257	C	2,994	2,826	2,726
D	1,740	1,673	1,735	B/D/E	556	558	599
E	140	138	141				
F	1,452	1,358	1,418	F	2,359	2,178	2,142
G	3,104	2,956	3,087	G	4,062	3,915	3,801
H	1,210	942	958	H	1,574	1,572	1,520
I	1,318	1,253	1,333	I	1,770	1,649	1,558
J	844	904	947	J	1,393	1,521	1,581
K	2,663	2,571	2,750	K	1,288	1,341	1,424
L	999	991	1,064	L	391	399	414
M	1,359	1,338	1,452	M	2,524	2,629	2,678
N	2,496	2,438	2,559	N	1,534	1,486	1,432
O	978	813	806	O	2,113	2,258	2,390
P	56	38	40	P	3,421	3,434	3,427
Q	2	0	2	Q	4,407	4,493	4,499
R/S/T	—	—	—	R/S/T	1,876	1,800	1,785
U	—	—	—	U	—	—	—
X	0	0	0	X	—	—	—

3) 16歳以上が対象。四半期データを年平均したもの (JILPTによる算出)。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参 考

3 就業構造

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

ドイツ DEU				フランス FRA			
千人				thousands			
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	ISIC	rev.4	rev.4	rev.4
	2019年	2020	2021		2019	2020	2021
計/Total	42,399	41,474	41,500	計	27,132	26,995	27,728
A	511	504	517	A	672	626	676
B	68	73	76	B	24	21	28
C	8,013	8,263	8,272	C	3,193	3,099	3,038
D	327	365	374	D	219	198	195
E	257	265	258	E	209	200	213
F	2,860	2,337	2,446	F	1,806	1,797	1,776
G	5,780	5,255	5,313	G	3,389	3,397	3,455
H	2,142	1,913	1,940	H	1,412	1,385	1,411
I	1,586	1,309	1,183	I	1,021	994	975
J	1,369	1,638	1,580	J	875	934	983
K	1,249	1,303	1,251	K	919	961	1,007
L	214	365	373	L	322	323	350
M	2,470	2,223	2,127	M	1,628	1,672	1,776
N	2,144	1,739	1,735	N	1,057	1,025	1,123
O	2,907	3,368	3,363	O	2,466	2,520	2,297
P	2,883	2,745	2,707	P	2,035	2,109	2,163
Q	5,614	5,440	5,635	Q	3,958	3,922	3,879
R	590	545	473	R	470	449	522
S	1,182	1,481	1,574	S	696	684	779
T	215	158	162	T	335	287	269
U	19	—	—	U	25	20	16
X	—	176	132	X	400.6	372	798

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

イタリア				ITA	オランダ				NLD
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	23,360	22,903	22,554		計	8,982	8,981	9,282	
A	909	912	914		A	168	166	205	
B	25	33	31		B	8	10	13	
C	4,321	4,290	4,185		C	812	806	774	
D	114	117	113		D	35	29	41	
E	243	242	249		E	33	32	42	
F	1,339	1,358	1,431		F	413	407	397	
G	3,287	3,187	3,107		G	1,250	1,228	1,450	
H	1,143	1,131	1,141		H	394	368	460	
I	1,480	1,303	1,203		I	387	345	380	
J	618	624	656		J	301	310	410	
K	636	623	625		K	246	245	283	
L	164	155	136		L	67	68	75	
M	1,516	1,512	1,484		M	645	669	807	
N	1,028	963	980		N	479	452	431	
O	1,243	1,219	1,148		O	509	534	630	
P	1,590	1,634	1,615		P	588	598	698	
Q	1,922	1,894	1,887		Q	1,367	1,388	1,570	
R	318	306	264		R	193	180	209	
S	712	715	703		S	168	188	199	
T	739	667	666		T	14	16	14	
U	14	18	16		U	—	—	—	
					X	906	943	193	

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

デンマーク				DNK	スウェーデン				SWE
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	2,878	2,852	2,907		計	5,132	5,064	5,120	
A	64	60	59		A	86	87	100	
B	6	5	4		B	9	10	11	
C	316	321	332		C	514	501	500	
D	17	17	16		D	31	32	34	
E	17	16	14		E	26	25	23	
F	177	178	195		F	361	353	349	
G	434	423	428		G	573	562	533	
H	126	127	124		H	248	233	210	
I	112	100	98		I	165	140	129	
J	115	115	123		J	255	270	292	
K	78	82	83		K	101	108	112	
L	41	40	40		L	83	82	91	
M	172	170	167		M	444	451	485	
N	121	117	118		N	224	222	227	
O	146	154	158		O	366	369	409	
P	256	260	264		P	586	568	568	
Q	523	517	534		Q	763	758	737	
R	68	64	62		R	140	131	112	
S	77	73	72		S	129	126	127	
T	u 3	u 2	—		T	—	—	—	
U	u 3	u 3	3		U	—	—	—	
X	10	9	13		X	27	36	71	

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

フィンランド FIN				ノルウェー NOR			
千人				thousands			
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	ISIC	rev.4	rev.4	rev.4
	2019年	2020	2021		2019	2020	2021
計/Total	2,566	2,528	2,573	計	2,716	2,702	2,796
A	97	92	105	A	55	57	65
B	8	6	5	B	61	62	64
C	329	329	323	C	209	208	202
D	14	17	15	D	16	16	18
E	10	13	13	E	13	14	19
F	193	188	189	F	227	226	231
G	287	270	292	G	358	349	351
H	143	134	136	H	125	128	129
I	97	78	86	I	93	85	87
J	123	130	127	J	107	110	118
K	52	52	46	K	50	50	54
L	26	29	29	L	28	27	35
M	181	199	189	M	159	163	170
N	119	113	128	N	127	121	129
O	113	121	117	O	167	164	179
P	187	189	182	P	230	230	238
Q	423	411	411	Q	564	566	578
R	68	65	64	R	64	66	64
S	79	75	83	S	57	56	53
T	9	8	9	T	—	—	—
U	—	—	—	U	—	—	—
X	7	7	25	X	—	—	12

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

ロシア				RUS	中国 4)				CHN
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4			
	2019年	2020	2021			2002	2019	2020	
計/Total	71,933	70,601	71,719		計	737,400	計	754,470	750,640
A	4,196	4,237	4,198		A	324,872			
B	1,651	1,629	1,626		B	5,585	一次産業	Primary industry	
C	10,258	10,019	10,200		C	83,074	(A)	186,520	177,150
D	1,876	1,878	1,830		D/E	3,873			
E	516	532	533						
F	4,966	4,650	4,907		F	38,930	二次産業	Secondary industry	
G	11,198	10,907	11,183		G/I	49,691	(B to F)	212,340	215,430
H	6,314	6,198	6,315		H/J	20,839			
I	1,894	1,712	1,841						
J	1,295	1,366	1,310				三次産業	Tertiary Industry	
K	1,627	1,587	1,579		K	3,398	(G to X)	355,610	358,060
L	1,233	1,265	1,224		L	1,184			
M	2,354	2,487	2,556		M	1,627			
N	1,786	1,765	1,778		N	10,937			
O	5,022	5,021	4,968		O/U	10,747			
P	6,840	6,675	6,822		P/R	15,651			
Q	5,693	5,498	5,595		Q	4,932			
R	1,445	1,408	1,404						
S	1,753	1,757	1,842		S/X	62,454			
T	12	9	8		T	—			
U	4	u 1	—						

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

4) 中国全土における16歳以上が対象。各年12月末の数値。2003年以降は産業大分類の統計がないため、3分類にて掲載。

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

韓国 KOR				シンガポール 5) SGP			
千人				thousands			
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	ISIC	rev.4	rev.4	rev.4
	2019年	2020	2021		2019	2020	2021
計/Total	27,231	27,024	27,401	計	2,230	2,223	2,300
A	1,395	1,445	1,458	A	—	—	1
B	15	13	12	B	—	—	0
C	4,429	4,376	4,368	C	214	213	53
D	68	74	71	D	—	—	1
E	135	153	169	E	—	—	3
F	2,020	2,016	2,090	F	98	97	25
G	3,663	3,503	3,353	G	356	335	85
H	1,431	1,482	1,586	H	206	215	50
I	2,303	2,144	2,098	I	132	129	31
J	861	847	901	J	103	111	30
K	800	778	800	K	209	208	56
L	556	517	531	L	49	50	13
M	1,157	1,164	1,219	M	182	181	49
N	1,312	1,347	1,397	N	120	128	30
O	1,076	1,112	1,143	O	304	294	41
P	1,883	1,798	1,840	P	—	—	38
Q	2,206	2,336	2,534	Q	136	140	38
R	495	496	467	R	34	34	8
S	1,233	1,189	1,135	S	64	65	18
T	75	98	87	T	—	—	u 0
U	12	17	15	U	—	—	1
X	109	120	128	X	24	21	1,729

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

5) 国籍保有者及び永住権保有者が対象。各年6月の数値。2020年迄の区分XはA、B、D、Eを含む。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

マレーシア 6) MYS				タイ THA			
千人				thousands			
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	ISIC	rev.4	rev.4	rev.4
	2018年	2019	2020		2018	2019	2020
計/Total	14,776	15,073	14,957	計	37,865	37,613	37,680
A	1,570	1,541	1,566	A	12,168	11,821	11,811
B	91	91	82	B	74	61	75
C	2,500	2,682	2,498	C	6,259	6,125	5,976
D	69	71	76	D	113	120	123
E	89	89	84	E	77	95	99
F	1,258	1,276	1,173	F	2,112	2,191	2,232
G	2,545	2,595	2,766	G	6,277	6,245	6,277
H	698	668	689	H	1,260	1,301	1,326
I	1,473	1,550	1,540	I	2,827	2,850	2,870
J	216	214	223	J	199	196	222
K	339	335	372	K	501	516	525
L	97	92	82	L	184	202	233
M	368	386	379	M	387	380	386
N	748	806	802	N	560	602	533
O	720	737	735	O	1,627	1,611	1,643
P	989	962	938	P	1,164	1,157	1,211
Q	551	528	560	Q	659	643	690
R	86	79	58	R	248	267	274
S	265	266	267	S	882	932	888
T	104	104	66	T	211	219	231
U	2	2	—	U	3	4	2
				X	73	76	54

6) 15歳から64歳までが対象。自己使用のための生産労働者を除く。

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

フィリピン				PHL	オーストラリア 7)				AUS
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2018年	2019	2020			2018	2019	2020	
計/Total	41,157	42,428	39,378		計	12,598	12,894	12,673	
A	9,998	9,698	9,754		A	330	330	351	
B	207	184	184		B	241	243	243	
C	3,625	3,618	3,184		C	1,001	963	934	
D	88	91	81		D	83	79	87	
E	61	64	58		E	71	79	67	
F	3,866	4,153	3,700		F	1,177	1,171	1,171	
G	7,994	8,453	8,081		G	1,799	1,809	1,763	
H	3,220	3,432	2,932		H	643	664	627	
I	1,727	1,918	1,468		I	891	913	795	
J	404	425	350		J	456	447	462	
K	540	582	556		K	444	448	483	
L	204	232	192		L	172	173	177	
M	275	304	260		M	808	895	864	
N	1,584	1,657	1,609		N	459	493	459	
O	2,560	2,785	2,563		O	782	832	852	
P	1,197	1,283	1,286		P	1,028	1,070	1,092	
Q	518	543	542		Q	1,681	1,724	1,768	
R	363	398	230		R	263	264	228	
S	779	781	694		S	266	291	244	
T	1,945	1,828	1,652		T	3	4	3	
U	4	u 1	u 2		U	1	1	1	
X	—	—	—		X	0	0	2	

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

7) 自己使用のための生産労働者、軍人、徴集兵を除く。海外領土を除く。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-1 表 産業別就業者数 (続き)

Table 3-1: Employment by economic activity (cont.)

ニュージーランド 8)				NZL	ブラジル				BRA
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	2,692	2,728	—		計	94,129	86,875	91,188	
A	157	164	169		A	8,406	8,196	8,788	
B	6	6	5		B	434	438	437	
C	253	261	253		C	10,912	10,200	10,737	
D	12	14	14		D	237	258	222	
E	12	13	11		E	656	522	468	
F	250	271	285		F	6,886	6,108	6,951	
G	387	385	379		G	18,036	16,407	17,272	
H	121	123	120		H	4,933	4,518	4,701	
I	152	147	151		I	5,567	4,379	4,611	
J	93	92	93		J	1,338	1,415	1,580	
K	82	86	86		K	1,307	1,288	1,390	
L	45	42	50		L	578	545	589	
M	192	182	191		M	3,238	3,286	3,676	
N	124	122	112		N	4,241	3,883	3,890	
O	144	155	159		O	4,989	5,073	4,920	
P	217	213	225		P	6,413	6,225	6,120	
Q	280	295	295		Q	4,743	4,848	5,130	
R	52	53	58		R	1,030	806	729	
S	71	74	80		S	4,039	3,568	3,711	
T	1	1	0		T	6,106	4,886	5,213	
U	1	1	1		U	6	4	3	
					X	34	21	50	

8) 2021年の就業者計は区分Xを除く。

出典：日本、カナダ、ニュージーランド：OECD (<https://stats.oecd.org/>) 2022年10月現在イギリス：ONS (2022.11) *All in employment by industry*

中国：国家统计局(NBS) (2021.9) 「中国統計年鑑2021」 (2002年値は「中国労働統計年鑑2015」)

その他の国：ILOSTAT (<https://ilostat.ilo.org/data/>) 2022年10月現在

A 表 国際標準産業分類 (ISIC)

Table A: International Standard Industrial Classification of All Economic Activities (ISIC)

国際標準産業分類-rev.4		ISIC-Rev.4
A	農業・林業及び漁業	Agriculture, forestry and fishing
B	鉱業及び採石業	Mining and quarrying
C	製造業	Manufacturing
D	電気・ガス・蒸気及び空調供給業	Electricity, gas, steam and air conditioning supply
E	水供給・下水処理並びに廃棄物管理及び浄化活動	Water supply; sewerage, waste management and remediation activities
F	建設業	Construction
G	卸売・小売業、自動車及びオートバイ修理業	Wholesale and retail trade; repair of motor vehicles and motorcycles
H	運輸・保管業	Transportation and storage
I	宿泊・飲食サービス業	Accommodation and food service activities
J	情報通信業	Information and communication
K	金融・保険業	Financial and insurance activities
L	不動産業	Real estate activities
M	専門・科学・技術サービス業	Professional, scientific and technical activities
N	管理・支援サービス業	Administrative and support service activities
O	公務及び国防・義務的社会保障事業	Public administration and defence; compulsory social security
P	教育	Education
Q	保健衛生及び社会事業	Human health and social work activities
R	芸術・娯楽及びレクリエーション	Arts, entertainment and recreation
S	その他のサービス業	Other service activities
T	雇い主としての世帯活動、世帯による自家利用のための分別不能な財及びサービス生産活動	Activities of households as employers; undifferentiated goods- and services-producing activities of households for own use
U	治外法権機関及び団体	Activities of extra-territorial organizations and bodies
X	分類不能	Not classifiable by economic activity

1 経済・経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業者・保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 福祉・勤労者生活

参考

3 就業構造

A 表 国際標準産業分類 (ISIC) (続き)

Table A: International Standard Industrial Classification of All Economic Activities (ISIC) (cont.)

国際標準産業分類-rev.3		ISIC-Rev.3
A	農業、狩猟業及び林業	Agriculture, hunting and forestry
B	漁業	Fishing
C	鉱業及び採石業	Mining and quarrying
D	製造業	Manufacturing
E	電気、ガス、水供給業	Electricity, gas and water supply
F	建設業	Construction
G	卸売・小売業並びに自動車、オートバイ及び個人・家庭用品修理業	Wholesale and retail trade; repair of motor vehicles, motorcycles and Personal and household goods
H	ホテル及びレストラン	Hotels and restaurants
I	運輸業・倉庫業及び通信業	Transport, storage and communications
J	金融仲介業	Financial intermediation
K	不動産業、物品賃貸業及び対事業所サービス業	Real estate, renting and business activities
L	公務及び国防・義務的社会保障事業	Public administration and defence; compulsory social security
M	教育	Education
N	保健衛生及び社会事業	Health and social work
O	その他の共同体、社会及び個人サービス業	Other community, social and personal service activities
P	雇い主のいる個人世帯	Activities of private households as employers and undifferentiated production activities of private households
Q	治外法権機関及び団体	Extra-territorial organizations and bodies
X	分類不能	Not classifiable by economic activity

出典：国連統計局 (<https://unstats.un.org/unsd/classifications/Econ>)総務省 (https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/)

第 3-2 表 就業者の産業別構成比

Table 3-2: Sectoral composition of employment

		産業計	農林、 漁業	鉱業	製造業	電気、 ガス、 水道	建設	
	年/year							%
日本	2021	100.0	3.1	0.0	15.9	1.0	7.2	JPN
アメリカ	2021	100.0	1.7	0.3	9.9	1.3	7.7	USA
カナダ	2021	100.0	1.7	1.4	9.2	0.7	7.5	CAN
イギリス 1)	2021	100.0	0.9	—	8.4	1.8	6.6	UK
ドイツ	2021	100.0	1.2	0.2	19.9	1.5	5.9	DEU
フランス	2021	100.0	2.4	0.1	11.0	1.5	6.4	FRA
イタリア	2021	100.0	4.1	0.1	18.6	1.6	6.3	ITA
オランダ	2021	100.0	2.2	0.1	8.3	0.9	4.3	NLD
デンマーク	2021	100.0	2.0	0.1	11.4	1.0	6.7	DNK
スウェーデン	2021	100.0	1.9	0.2	9.8	1.1	6.8	SWE
フィンランド	2021	100.0	4.1	0.2	12.6	1.1	7.3	FIN
ノルウェー	2021	100.0	2.3	2.3	7.2	1.3	8.3	NOR
ロシア	2021	100.0	5.9	2.3	14.2	3.3	6.8	RUS
韓国	2021	100.0	5.3	0.0	15.9	0.9	7.6	KOR
シンガポール	2021	100.0	0.0	0.0	2.3	0.2	1.1	SGP
マレーシア	2020	100.0	10.5	0.5	16.7	1.1	7.8	MYS
タイ	2020	100.0	31.3	0.2	15.9	0.6	5.9	THA
フィリピン	2020	100.0	24.8	0.5	8.1	0.4	9.4	PHL
オーストラリア	2020	100.0	2.8	1.9	7.4	1.2	9.2	AUS
ニュージーランド	2021	100.0	6.2	0.2	9.2	0.9	10.4	NZL
ブラジル	2021	100.0	9.6	0.5	11.8	0.8	7.6	BRA
		Total	a	b	c	d	e	

a) Agriculture, forestry and fishing; b) Mining and quarrying; c) Manufacturing; d) Electricity, gas, water supply; e) Construction.

注：出典及び各国の注は第3-1表（p.91～101）に準ずる。各産業の合計は必ずしも100にはならない。

1) 電気、ガス、水道業は、鉱業を含む。計と内訳計の差を、便宜上「その他」に計上。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-2 表 就業者の産業別構成比 (続き)

Table 3-2: Sectoral composition of employment (cont.)

		卸売・ 小売 2)	宿泊・ 飲食	運輸・ 保管、 通信	金融・ 保険	不動産 業、事業 活動 3)	その他 4)	
	年/year							%
日本	2021	16.3	5.5	9.5	2.8	10.6	27.9	JPN
アメリカ	2021	12.8	6.1	10.8	5.1	12.3	32.1	USA
カナダ	2021	16.4	5.1	7.1	5.0	14.6	31.4	CAN
イギリス	2021	11.7	4.8	9.6	4.4	14.0	37.8	UK
ドイツ	2021	12.8	2.9	8.5	3.0	10.2	33.8	DEU
フランス	2021	12.5	3.5	8.6	3.6	11.7	38.7	FRA
イタリア	2021	13.8	5.3	8.0	2.8	11.5	27.9	ITA
オランダ	2021	15.6	4.1	9.4	3.0	14.1	37.8	NLD
デンマーク	2021	14.7	3.4	8.5	2.8	11.2	38.1	DNK
スウェーデン	2021	10.4	2.5	9.8	2.2	15.7	39.5	SWE
フィンランド	2021	11.3	3.4	10.2	1.8	13.4	34.6	FIN
ノルウェー	2021	12.6	3.1	8.8	1.9	11.9	40.2	NOR
ロシア	2021	15.6	2.6	10.6	2.2	7.8	28.8	RUS
韓国	2021	12.2	7.7	9.1	2.9	11.5	26.8	KOR
シンガポール	2021	3.7	1.4	3.5	2.4	4.0	81.4	SGP
マレーシア	2020	18.5	10.3	6.1	2.5	8.4	17.5	MYS
タイ	2020	16.7	7.6	4.1	1.4	3.1	13.3	THA
フィリピン	2020	20.5	3.7	8.3	1.4	5.2	17.7	PHL
オーストラリア	2020	13.9	6.3	8.6	3.8	11.8	33.1	AUS
ニュージーランド	2021	13.8	5.5	7.8	3.1	12.9	29.9	NZL
ブラジル	2021	18.9	5.1	6.9	1.5	8.9	28.4	BRA
		f	g	h	i	j	k	

f) Wholesale and retail trade; repair of motor vehicles and motorcycles; g) Accommodation and food service activities; h) Transportation and storage, Information and communication; i) Financial and insurance activities; j) Real estate activities, renting and business activities(incl. Professional, scientific and technical activities, Administrative and support service activities); k) Other services(e.g. Public administration and defence; compulsory social security; Education; Health and social work; Other community, social and personal service activities; households as employers; undifferentiated goods- and services-producing activities of households for own use; Extra-territorial organizations and bodies) and Not elsewhere classified.

2) 自動車・オートバイ修理業を含む。

3) 専門、科学及び技術サービス、管理・支援サービス業を含む。

4) その他のサービス業、雇い主としての世帯活動、並びに世帯による自家利用のための分別不能な財及びサービス生産活動、治外法権機関及び団体の活動が対象。

第 3-3 表 産業別雇用者数

Table 3-3: Employees by economic activity

日本 JPN				アメリカ 1) USA			
千人				thousands			
ISIC	rev.4 2019年	rev.4 2020	rev.4 2021	ISIC	rev.4 2019	rev.4 2020	rev.4 2021
計/Total	60,040	59,730	59,730	計	147,938	138,474	142,536
A	670	650	630	A	1,879	1,810	1,770
B	20	20	30	B	504	473	411
C	10,380	10,240	10,190	C	15,871	14,475	14,603
D/E	600	660	680	D	1,329	1,306	1,304
				E	720	662	653
F	4,090	4,020	3,930	F	10,223	9,698	10,024
G	10,090	10,040	10,100	G	18,803	17,926	18,555
H	3,660	3,630	3,650	H	9,010	8,597	9,272
I	3,640	3,390	3,170	I	10,317	8,260	9,084
J	2,170	2,280	2,420	J	6,013	5,982	6,240
K	1,860	1,850	1,860	K	7,512	7,622	7,389
L	860	940	960	L	2,756	2,559	2,708
M	1,860	1,890	1,980	M	8,115	7,691	7,845
N	3,040	3,040	3,070	N	6,068	5,443	5,732
O	2,450	2,510	2,530	O	5,408	5,503	5,517
P	3,080	3,130	3,190	P	13,937	13,125	13,298
Q	8,140	8,320	8,520	Q	21,407	20,442	20,878
R	780	750	700	R	2,938	2,178	2,416
S/T	1,570	1,520	1,440	S	3,826	3,588	3,673
				T	821	655	659
U	30	30	20	U	481	480	506
X	—	—	—	X	—	—	—

Item A to X: See "Table A: International Standard Industrial Classification of All Economic Activities (ISIC)" (p.102~103).

注：各産業の分類基準・記号については、「A表 国際標準産業分類(ISIC)」(p.102~103)を参照のこと。特に注記しない限り15歳以上が対象。各国の出典は本表末尾 (p.116)を参照。

1) 16歳以上が対象。

3 就業構造

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

カナダ				CAN	イギリス 2)				UK
千人					thousands				
ISIC	rev.3	rev.3	rev.3		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	17,436	16,447	17,415		計	27,649	27,751	28,023	
A	237	232	217		A	150	152	135	
B	15	14	14						
C	263	234	255		C	2,757	2,610	2,541	
D	1,716	1,646	1,712		B/D/E	522	524	565	
E	140	138	141						
F	1,257	1,192	1,236		F	1,407	1,331	1,340	
G	2,977	2,820	2,961		G	3,646	3,546	3,446	
H	1,177	916	930		H	1,244	1,289	1,259	
I	1,201	1,134	1,211		I	1,598	1,503	1,413	
J	795	852	905		J	1,152	1,280	1,378	
K	2,219	2,120	2,331		K	1,190	1,238	1,331	
L	999	991	1,064		L	310	319	344	
M	1,297	1,272	1,387		M	1,876	2,021	2,098	
N	2,304	2,229	2,364		N	1,156	1,145	1,125	
O	795	633	656		O	2,054	2,203	2,346	
P	44	25	30		P	3,143	3,142	3,169	
Q	2	0	2		Q	4,043	4,145	4,200	
R/S/T	—	—	—		R/S/T	1,247	1,195	1,205	
U	—	—	—		U	—	—	—	
X	0	0	0		X	—	—	—	

2) 16歳以上が対象。四半期データを年平均したもの（JILPTによる算出）。

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

ドイツ DEU				フランス FRA			
千人				thousands			
ISIC	rev.4 2019年	rev.4 2020	rev.4 2021	ISIC	rev.4 2019	rev.4 2020	rev.4 2021
計/Total	38,321	37,731	37,869	計	23,849	23,646	24,199
A	280	279	295	A	285	265	274
B	66	72	74	B	23	21	28
C	7,730	7,980	7,976	C	3,006	2,923	2,852
D	322	359	367	D	216	194	192
E	248	258	251	E	205	195	208
F	2,386	2,001	2,089	F	1,401	1,379	1,373
G	5,269	4,816	4,877	G	2,916	2,916	3,015
H	2,045	1,829	1,849	H	1,312	1,301	1,311
I	1,376	1,144	1,009	I	853	837	803
J	1,200	1,473	1,422	J	775	829	861
K	1,123	1,189	1,118	K	869	909	936
L	163	292	302	L	255	236	265
M	1,887	1,716	1,668	M	1,268	1,273	1,367
N	1,901	1,547	1,537	N	941	903	999
O	2,906	3,348	3,336	O	2,462	2,514	2,295
P	2,682	2,547	2,530	P	1,948	2,013	2,057
Q	5,179	5,006	5,221	Q	3,529	3,482	3,440
R	407	396	360	R	354	320	413
S	930	1,213	1,305	S	520	500	597
T	200	148	154	T	334	286	266
U	19	—	—	U	25	20	16
X	—	110	119	X	352.2	328	632

1 経済・経営

2 人口・労働力人口

3 就業・構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労生活・福祉

参 考

3 就業構造

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

イタリア				ITA	オランダ				NLD
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	18,048	17,746	17,630		計	7,489	7,432	7,818	
A	483	496	490		A	73	77	109	
B	23	31	29		B	8	10	12	
C	3,864	3,837	3,768		C	749	741	724	
D	107	109	106		D	33	28	40	
E	234	234	240		E	32	31	42	
F	830	844	929		F	278	269	273	
G	2,099	2,094	2,062		G	1,085	1,060	1,289	
H	1,017	996	1,021		H	354	327	407	
I	1,069	904	858		I	332	286	324	
J	494	506	536		J	236	235	321	
K	521	522	518		K	196	194	237	
L	81	74	58		L	54	54	61	
M	624	627	630		M	391	402	523	
N	879	826	851		N	404	378	362	
O	1,237	1,212	1,142		O	503	527	627	
P	1,505	1,554	1,532		P	513	522	625	
Q	1,608	1,583	1,596		Q	1,220	1,223	1,412	
R	193	173	160		R	107	97	124	
S	436	445	437		S	100	107	122	
T	732	661	654		T	11	12	13	
U	14	17	15		U	—	—	—	
X	—	—	—		X	810	852	172	

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

デンマーク				DNK	スウェーデン				SWE
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	2,638	2,609	2,651		計	4,626	4,562	4,578	
A	38	37	34		A	30	33	35	
B	6	5	3		B	9	10	10	
C	305	308	318		C	486	473	472	
D	17	17	15		D	30	32	34	
E	16	16	14		E	26	25	22	
F	148	145	157		F	288	276	272	
G	400	393	398		G	514	504	474	
H	117	118	115		H	227	212	192	
I	102	89	87		I	140	118	110	
J	101	102	108		J	220	238	256	
K	75	79	79		K	94	102	107	
L	37	36	35		L	73	72	79	
M	140	133	132		M	358	360	376	
N	107	101	103		N	206	202	204	
O	146	154	158		O	366	368	407	
P	250	254	258		P	577	559	552	
Q	500	498	513		Q	745	743	720	
R	58	56	54		R	111	102	89	
S	63	58	56		S	98	96	100	
T	u 3	u 2	—		T	—	—	—	
U	u 2	u 3	3		U	—	—	—	
X	8	7	10		X	26	34	64	

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

1 経済 経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参 考

3 就業構造

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

フィンランド FIN				ノルウェー NOR			
千人				thousands			
ISIC	rev.4 2019年	rev.4 2020	rev.4 2021	ISIC	rev.4 2019	rev.4 2020	rev.4 2021
計/Total	2,220	2,189	2,198	計	2,540	2,536	2,663
A	29	30	34	A	31	33	38
B	7	6	4	B	61	62	64
C	309	309	302	C	202	203	198
D	14	17	15	D	16	16	18
E	10	12	13	E	13	13	18
F	148	144	142	F	203	201	216
G	251	238	251	G	341	338	344
H	126	117	116	H	117	118	121
I	87	67	74	I	89	81	85
J	112	118	113	J	102	104	112
K	49	50	43	K	49	49	53
L	21	24	22	L	25	23	29
M	137	153	147	M	135	142	157
N	105	98	112	N	119	114	124
O	113	121	117	O	166	164	178
P	181	183	174	P	226	226	234
Q	398	389	387	Q	544	547	562
R	52	50	48	R	50	52	55
S	54	51	58	S	48	48	47
T	9	8	9	T	—	—	—
U	—	—	—	U	—	—	—
X	6	6	16	X	—	—	8

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

ロシア				RUS	中国 3)				CHN
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2018	2019	2020	
計/Total	67,109	65,833	66,936		計	172,582	171,618	170,391	
A	2,868	2,926	2,960		A	1,926	1,341	857	
B	1,647	1,625	1,621		B	4,144	3,677	3,521	
C	9,865	9,638	9,786		C	41,783	38,320	38,055	
D	1,869	1,874	1,822		D/E	3,692	3,731	3,797	
E	504	522	521						
F	4,526	4,246	4,471		F	27,109	22,705	21,533	
G	10,018	9,807	10,103		G	8,233	8,300	7,869	
H	5,799	5,667	5,781		H	8,190	8,155	8,122	
I	1,815	1,642	1,773		I	2,698	2,652	2,566	
J	1,240	1,312	1,247		J	4,243	4,553	4,871	
K	1,614	1,574	1,567		K	6,993	8,261	8,590	
L	1,189	1,217	1,177		L	4,660	5,103	5,254	
M	2,224	2,328	2,395		M	4,115	4,343	4,312	
N	1,737	1,716	1,724		N	5,295	6,604	6,436	
O	5,022	5,021	4,968		O/U	20,781	22,343	22,177	
P	6,788	6,616	6,759		P	17,356	19,093	19,589	
Q	5,621	5,426	5,522		Q	9,124	10,062	10,519	
R	1,401	1,367	1,361		R	1,466	1,512	1,495	
S	1,347	1,301	1,369		S/T	774	863	828	
T	11	8	8						
U	4	u 1	—						
X	—	—	—						

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

3) 16歳以上、かつ民間企業を除く都市部企業の登録雇用者が対象。各年12月末の数値。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

韓国				KOR	シンガポール 4)				SGP
千人					千人				thousands
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	20,440	20,332	20,753		計	1,884	1,855	1,993	
A	127	126	121		A	—	—	1	
B	14	13	12		B	—	—	0	
C	3,967	3,942	3,938		C	201	200	50	
D	67	72	70		D	—	—	1	
E	126	141	151		E	—	—	3	
F	1,607	1,640	1,695		F	79	77	20	
G	2,271	2,189	2,105		G	308	287	73	
H	823	837	897		H	136	135	33	
I	1,425	1,287	1,229		I	111	105	26	
J	789	772	838		J	93	99	27	
K	766	758	776		K	187	183	49	
L	388	364	387		L	33	34	8	
M	986	991	1,058		M	156	155	43	
N	1,218	1,252	1,297		N	110	117	28	
O	1,076	1,112	1,143		O	238	231	41	
P	1,535	1,482	1,538		P	—	—	32	
Q	2,117	2,247	2,447		Q	130	131	36	
R	322	324	313		R	30	31	8	
S	735	673	637		S	52	50	14	
T	70	94	86		T	—	—	0	
U	12	17	15		U	—	—	1	
					X	22	20	1,500	

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

4) 国籍保有者及び永住権保有者が対象。各年6月の数値。2020年迄の区分XはA、B、D、Eを含む。

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

マレーシア 5) MYS				タイ THA			
thousands				thousands			
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	ISIC	rev.4	rev.4	rev.4
	2018年	2019	2020		2018	2019	2020
計	10,700	11,218	11,554	計	18,334	18,660	18,607
A	653	670	968	A	1,871	1,754	1,735
B	88	89	80	B	69	55	70
C	2,109	2,306	2,106	C	4,866	4,821	4,696
D	68	71	73	D	113	120	123
E	75	73	69	E	64	83	86
F	922	961	892	F	1,552	1,657	1,690
G	1,594	1,701	1,854	G	2,508	2,647	2,626
H	524	527	597	H	661	724	742
I	833	883	895	I	919	960	915
J	202	199	208	J	173	181	201
K	298	312	340	K	474	490	501
L	79	79	78	L	132	140	173
M	297	324	332	M	280	279	282
N	610	662	687	N	480	524	465
O	720	737	735	O	1,627	1,611	1,643
P	949	921	909	P	1,138	1,135	1,190
Q	363	384	446	Q	620	613	651
R	70	62	50	R	126	128	117
S	143	152	173	S	377	444	415
T	104	104	64	T	211	219	231
U	2	—	—	U	3	4	2
				X	70	71	54

5) 15歳から64歳までが対象。自己使用のための生産労働者を除く。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

フィリピン				PHL	オーストラリア 6)				AUS
千人					thousands				
ISIC	rev.4 2018年	rev.4 2019	rev.4 2020		ISIC	rev.4 2018	rev.4 2019	rev.4 2020	
計/Total	26,128	27,091	24,648		計	10,505	10,728	10,560	
A	3,334	3,229	2,958		A	155	139	153	
B	179	157	159		B	236	237	238	
C	2,930	2,954	2,649		C	863	840	813	
D	88	91	81		D	79	77	85	
E	61	62	58		E	66	73	58	
F	3,804	4,101	3,664		F	760	757	765	
G	3,048	3,198	3,011		G	1,565	1,577	1,541	
H	1,668	1,704	1,593		H	524	529	501	
I	1,258	1,416	1,054		I	792	804	697	
J	343	359	317		J	383	378	382	
K	524	566	544		K	395	400	433	
L	156	159	147		L	130	128	124	
M	245	264	234		M	574	647	622	
N	1,559	1,638	1,591		N	329	364	329	
O	2,560	2,785	2,563		O	771	819	841	
P	1,181	1,263	1,266		P	963	997	1,024	
Q	494	514	518		Q	1,523	1,560	1,607	
R	310	349	200		R	211	213	183	
S	439	454	389		S	183	184	160	
T	1,945	1,828	1,652		T	2	3	2	
U	4	u 1	u 2		U	1	1	1	
X	—	—	—		X	0	0	2	

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable.

6) 自己使用のための生産労働者、軍人、徴集兵を除く。海外領土を除く。

第 3-3 表 産業別雇用者数 (続き)

Table 3-3: Employees by economic activity (cont.)

ニュージーランド ^a				NZL	ブラジル				BRA
千人					thousands				
ISIC	rev.4	rev.4	rev.4		ISIC	rev.4	rev.4	rev.4	
	2019年	2020	2021			2019	2020	2021	
計/Total	2,196	2,191	—		計	63,805	58,635	60,624	
A	88	91	89		A	3,533	3,277	3,469	
B	5	5	5		B	411	418	420	
C	219	227	223		C	8,196	7,721	8,063	
D	12	14	14		D	236	243	219	
E	10	11	9		E	459	438	405	
F	169	182	190		F	2,980	2,627	2,974	
G	335	327	324		G	11,140	10,090	10,612	
H	104	103	100		H	2,724	2,423	2,483	
I	123	120	127		I	2,998	2,217	2,332	
J	73	70	69		J	1,108	1,146	1,275	
K	74	75	75		K	1,153	1,108	1,214	
L	23	19	24		L	325	287	317	
M	134	125	128		M	1,733	1,714	1,887	
N	91	88	80		N	3,680	3,372	3,343	
O	142	153	157		O	4,989	5,073	4,920	
P	205	199	212		P	6,063	5,901	5,729	
Q	254	264	264		Q	4,049	4,166	4,339	
R	41	39	43		R	603	437	377	
S	52	51	55		S	1,340	1,119	1,048	
T	1	0	0		T	6,061	4,843	5,163	
U	1	1	1		U	6	4	3	
					X	18	10	33	

出典：日本、カナダ、ニュージーランド：OECD (<https://stats.oecd.org/>) 2022年10月現在イギリス：ONS (2022.11) *All employees by industry sector*

中国：国家統計局(NBS) (2021.9) 「中国統計年鑑2021」

その他の国：ILOSTAT (<https://ilostat.ilo.org/data/>) 2022年10月現在

1 経済・経営

2 人口・労働力人口

3 就業・構造

4 失業・失業者・保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参 考

3 就業構造

第 3-4 表 性別・職業別就業者数

Table 3-4: Employment by occupation and sex

日本 1)										JPN
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	67,500	37,440	30,050	67,100	37,240	29,860	67,130	37,110	30,020	
1	1,290	1,100	190	1,290	1,130	170	1,290	1,120	170	
2/3	11,790	6,150	5,650	12,210	6,430	5,790	12,650	6,580	6,070	
4	13,260	5,220	8,040	13,600	5,410	8,190	13,890	5,530	8,360	
5	18,440	8,720	9,740	18,160	8,600	9,570	17,840	8,450	9,380	
6	2,170	1,380	800	2,090	1,340	750	2,030	1,310	720	
7	9,110	6,480	2,620	8,730	6,180	2,550	8,650	6,080	2,570	
8	2,220	2,150	70	2,180	2,100	70	2,140	2,070	70	
9	7,860	5,530	2,330	7,750	5,480	2,270	7,720	5,470	2,250	
X	1,360	710	610	1,090	570	500	920	500	430	
	Total	Male	Female	T	M	F	T	M	F	
アメリカ										USA
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	157,538	83,460	74,078	147,795	78,560	69,234	152,581	80,829	71,752	
1	17,439	10,344	7,094	17,027	10,036	6,992	16,008	9,382	6,626	
2	35,392	16,308	19,084	34,132	15,627	18,505	31,429	14,374	17,055	
3	22,777	11,338	11,439	25,684	11,342	14,342	23,929	10,451	13,478	
4	15,615	4,258	11,358	13,222	3,521	9,701	12,328	3,302	9,027	
5	27,413	10,433	16,980	21,455	9,266	12,190	20,656	8,624	12,031	
6	698	563	134	659	537	122	610	502	108	
7	14,637	12,611	2,026	12,508	10,744	1,765	12,072	10,346	1,725	
8	9,258	7,498	1,760	8,402	6,860	1,543	8,133	6,602	1,531	
9	14,310	10,107	4,203	14,705	10,629	4,077	14,877	10,647	4,230	
X	—	—	—	—	—	—	12,541	6,599	5,942	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	

Item 0 to 9 and X: See "Table B: International Standard Classification of Occupation (ISCO)" (p.127).

注：ISCO分類記号は「B表 国際標準職業分類(ISCO)」(p.127)を参照。

- 1) 日本独自の分類 (JSCO) による数値を、大分類レベルでISCOに当てはめて集計したもので、厳密には国際分類とは異なる。分類5には販売・サービス・保安職業従事者を含み、分類7は生産工程従事者、分類8は輸送・機械運転従事者、分類9は建設・採掘従事者及び運搬・清掃・包装等従事者を指す。

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

イギリス										UK
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	32,508	17,129	15,379	32,314	16,890	15,424	32,130	16,792	15,338	
1	3,685	2,369	1,316	3,655	2,317	1,338	3,367	2,140	1,228	
2	6,941	3,462	3,479	7,322	3,661	3,661	7,639	3,904	3,735	
3	4,706	2,582	2,123	5,015	2,726	2,289	4,910	2,613	2,297	
4	3,133	762	2,371	3,248	879	2,369	3,285	908	2,377	
5	3,301	2,964	337	2,985	2,639	346	2,836	2,502	333	
6	2,950	523	2,427	2,899	532	2,367	2,953	556	2,396	
7	2,366	906	1,460	2,271	865	1,406	2,247	909	1,339	
8	2,022	1,773	249	1,839	1,618	221	1,762	1,527	236	
9	3,336	1,743	1,594	3,030	1,619	1,411	3,070	1,694	1,377	
0/X	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	
ドイツ										DEU
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	42,399	22,622	19,776	41,474	22,075	19,399	41,500	22,097	19,403	
1	2,099	1,481	618	1,661	1,181	479	1,683	1,191	492	
2	7,699	4,203	3,496	8,430	4,309	4,121	8,868	4,497	4,371	
3	9,768	4,162	5,607	8,258	3,841	4,417	8,432	3,879	4,553	
4	5,230	1,824	3,406	5,525	1,858	3,667	5,520	1,860	3,660	
5	5,901	2,259	3,642	5,364	2,049	3,316	5,531	2,101	3,430	
6	539	442	97	548	433	115	564	442	122	
7	5,084	4,490	594	4,547	4,092	456	4,816	4,305	511	
8	2,547	2,198	349	2,317	1,943	374	2,484	2,078	406	
9	3,294	1,372	1,922	2,938	1,294	1,644	3,101	1,420	1,681	
0	183	161	22	157	141	—	177	153	—	
X	56	32	24	1,730	936	794	326	171	155	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業・保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労使関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

フランス									FRA
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	27,132	13,969	13,163	26,995	13,885	13,110	27,728	14,159	13,568
1	2,027	1,324	703	2,107	1,358	749	1,884	1,172	712
2	5,146	2,451	2,695	5,450	2,577	2,873	6,371	3,165	3,206
3	5,426	2,683	2,743	5,359	2,662	2,697	4,886	2,085	2,801
4	2,174	560	1,614	2,154	535	1,620	2,390	666	1,724
5	4,313	1,428	2,885	4,159	1,376	2,783	3,744	1,195	2,549
6	803	631	171	768	604	164	752	585	168
7	2,427	2,169	258	2,338	2,079	259	2,694	2,423	270
8	1,932	1,550	382	1,892	1,521	371	1,768	1,433	335
9	2,523	912	1,611	2,417	915	1,502	2,377	941	1,436
0	250	202	48	231	199	33	207	177	30
X	112	58	54	121	62	59	655	317	338
	T	M	F	T	M	F	T	M	F
イタリア									ITA
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	23,360	13,487	9,872	22,903	13,280	9,623	22,554	13,044	9,510
1	839	606	233	827	601	226	810	579	232
2	3,581	1,630	1,951	3,605	1,660	1,944	3,397	1,528	1,868
3	4,103	2,494	1,609	4,044	2,433	1,611	3,876	2,329	1,547
4	2,760	979	1,781	2,760	985	1,775	2,891	1,058	1,832
5	4,115	1,679	2,436	3,830	1,563	2,267	3,774	1,515	2,259
6	568	444	124	550	428	122	546	436	111
7	2,986	2,694	292	2,959	2,677	282	2,971	2,681	290
8	1,603	1,328	275	1,588	1,315	273	1,600	1,315	286
9	2,570	1,408	1,162	2,499	1,386	1,114	2,486	1,406	1,080
0	235	226	8	241	232	9	204	197	7
X	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

u) 統計上信頼度の低い数値。

u) Unreliable.

第3-4表 性別・職業別就業者数(続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

オランダ									NLD
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	8,982	4,784	4,198	8,981	4,777	4,204	9,282	4,910	4,372
1	491	358	133	471	348	124	476	353	124
2	2,425	1,257	1,168	2,551	1,314	1,237	2,791	1,463	1,328
3	1,475	702	773	1,494	716	778	1,595	751	844
4	816	336	479	805	333	472	859	345	514
5	1,651	534	1,117	1,577	518	1,060	1,549	504	1,045
6	165	133	32	164	134	30	136	112	24
7	690	630	60	675	611	64	642	577	65
8	398	354	44	368	325	43	375	336	39
9	772	413	359	749	393	356	735	389	346
0	22	20	u 2	25	23	u 2	27	22	u 5
X	77	47	31	103	62	41	98	59	39
	T	M	F	T	M	F	T	M	F
デンマーク									DNK
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	2,878	1,529	1,349	2,852	1,514	1,338	2,907	1,543	1,364
1	91	66	24	78	57	22	80	58	23
2	797	350	448	814	360	454	802	359	443
3	516	303	213	516	297	220	534	301	233
4	191	57	134	190	55	135	188	57	131
5	546	203	343	526	196	331	526	199	327
6	46	39	8	43	36	7	46	38	8
7	213	198	15	214	200	13	216	202	14
8	146	123	23	146	124	22	151	129	22
9	299	164	134	292	164	128	295	168	127
0	14	13	—	14	14	—	10	9	—
X	19	12	7	19	12	7	60	23	37
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

u) 統計上信頼度の低い数値。

u) Unreliable.

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業者・失業者の雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参 考

3 就業構造

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

スウェーデン									SWE
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	5,132	2,694	2,438	5,064	2,675	2,389	5,120	2,717	2,403
1	321	192	129	320	185	135	344	196	148
2	1,525	641	885	1,556	669	887	1,621	712	909
3	943	531	412	959	542	417	936	518	419
4	308	122	186	295	122	173	301	120	181
5	928	313	615	871	301	570	847	312	535
6	79	62	17	87	65	22	104	75	29
7	476	437	39	456	419	37	456	424	33
8	293	251	42	278	240	38	272	234	38
9	236	127	109	219	116	103	214	108	106
0	16	14	—	15	12	—	16	13	—
X	7	u 5	—	10	u 6	u 4	8	5	3
	T	M	F	T	M	F	T	M	F
フィンランド									FIN
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	2,566	1,327	1,239	2,528	1,314	1,214	2,573	1,340	1,234
1	82	52	30	69	43	26	63	40	23
2	674	344	331	734	377	357	671	341	329
3	496	217	280	493	217	276	482	214	268
4	132	37	96	129	35	93	135	38	98
5	473	143	330	438	134	304	479	146	333
6	84	58	26	78	54	24	83	59	24
7	257	234	23	250	229	21	263	242	22
8	194	167	26	178	152	26	193	164	29
9	160	66	95	146	62	85	170	73	97
0	9	8	—	10	9	—	6	6	—
X	u 4	—	—	u 4	—	u 2	29	18	11
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

u) 統計上信頼度の低い数値。

u) Unreliable.

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

ノルウェー									NOR
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	2,716	1,436	1,279	2,702	1,430	1,272	2,796	1,480	1,316
1	223	146	77	223	147	76	232	154	78
2	749	305	444	752	307	445	802	330	472
3	432	255	177	423	251	172	435	257	178
4	155	65	90	146	65	81	152	68	84
5	591	198	393	564	185	378	569	187	381
6	49	38	11	44	34	10	54	43	11
7	257	242	14	244	230	14	249	233	16
8	145	131	14	146	130	17	159	139	20
9	95	41	55	88	36	52	97	38	60
0	21	15	u 6	71	44	27	8	7	—
X	—	—	—	—	—	—	38	24	14
	T	M	F	T	M	F	T	M	F
ロシア									RUS
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	71,933	36,913	35,021	70,601	36,208	34,393	71,719	36,891	34,829
1	4,354	2,408	1,946	4,100	2,224	1,876	3,946	2,124	1,822
2	17,948	6,696	11,252	18,596	6,921	11,674	18,774	7,123	11,651
3	9,999	4,059	5,940	9,703	3,976	5,728	9,895	4,088	5,807
4	2,064	363	1,700	1,946	348	1,598	1,904	316	1,589
5	11,280	3,409	7,870	10,725	3,251	7,474	11,155	3,326	7,829
6	1,742	882	859	1,756	909	847	1,708	896	813
7	9,661	7,923	1,738	9,231	7,600	1,631	9,549	7,840	1,708
8	9,278	8,192	1,086	9,198	8,131	1,067	9,224	8,160	1,063
9	5,610	2,980	2,629	5,346	2,847	2,499	5,565	3,019	2,546
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

u) 統計上信頼度の低い数値。

u) Unreliable.

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 福祉・勤労者生活

参考

3 就業構造

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

香港										HKG
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	3,871	1,920	1,952	3,691	1,820	1,871	3,670	1,805	1,865	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	431	212	218	421	210	212	410	205	205	
3	719	411	308	709	406	303	690	388	302	
4	489	131	358	465	123	342	464	127	337	
5	729	325	404	653	296	357	662	295	367	
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	237	224	13	227	214	13	236	224	13	
8	167	162	5	162	156	5	156	152	4	
9	664	172	492	643	157	486	651	169	482	
X	438	283	155	412	259	152	401	247	154	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	
韓国										KOR
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	27,231	15,488	11,744	27,024	15,408	11,616	27,401	15,573	11,828	
1	408	345	63	395	334	62	393	329	64	
2	5,557	2,839	2,718	5,480	2,855	2,626	5,585	2,849	2,736	
3	4,749	2,398	2,351	4,691	2,314	2,377	4,751	2,324	2,427	
4	3,116	1,044	2,072	3,046	1,016	2,030	3,073	1,053	2,020	
5	3,030	1,509	1,522	2,897	1,448	1,449	2,766	1,349	1,416	
6	1,332	821	511	1,383	861	521	1,396	879	517	
7	2,372	2,071	301	2,336	2,053	283	2,406	2,115	291	
8	3,026	2,663	363	2,957	2,621	336	2,979	2,642	336	
9	3,534	1,774	1,760	3,718	1,879	1,839	3,925	2,007	1,918	
X	109	25	84	120	27	93	128	25	103	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

シンガポール 2)										SGP
千人										thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	2,230	1,203	1,028	2,223	1,198	1,025	2,300	1,224	1,076	
1	365	231	134	368	231	137	94	58	36	
2	469	238	231	504	261	244	144	75	69	
3	468	243	225	458	232	227	105	57	48	
4	237	56	181	216	52	164	55	13	42	
5	258	112	146	252	108	145	60	27	33	
6	—	—	—	—	—	—	1	1	0	
7	68	59	9	63	54	9	15	12	2	
8	151	137	15	152	137	15	34	31	4	
9	149	64	85	150	65	84	38	17	21	
X	65	62	2	60	59	1	1,755	934	820	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	
マレーシア 3)										MYS
千人										thousands
ISCO -08	2018年			2019			2020			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計 T	14,776	9,042	5,734	15,073	9,202	5,871	14,957	9,129	5,828	
1	661	498	163	695	533	162	808	608	201	
2	1,824	821	1,003	1,884	831	1,053	1,868	782	1,086	
3	1,537	1,051	486	1,574	1,093	481	1,547	1,063	484	
4	1,248	349	899	1,272	337	935	1,242	384	858	
5	3,423	1,691	1,731	3,412	1,659	1,752	3,632	1,862	1,770	
6	922	720	202	933	741	192	916	720	196	
7	1,546	1,216	330	1,577	1,229	348	1,473	1,175	298	
8	1,788	1,399	389	1,865	1,447	419	1,690	1,278	412	
9	1,829	1,297	532	1,863	1,333	529	1,780	1,258	523	
	T	M	F	T	M	F	T	M	F	

2) 6月調査の数値。国籍保有者及び永住権保有者が対象。

3) 15～64歳が対象。自己使用のための生産労働者を除く。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

タイ									THA
千人									thousands
ISCO -08	2018年			2019			2020		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	37,865	20,630	17,235	37,613	20,466	17,147	37,680	20,452	17,228
1	1,394	921	473	1,379	895	484	1,624	987	637
2	2,105	828	1,277	2,117	826	1,292	2,274	869	1,405
3	1,732	823	909	1,690	786	905	1,785	842	943
4	1,596	488	1,108	1,697	505	1,191	1,645	488	1,156
5	7,656	3,117	4,539	7,573	3,049	4,524	7,504	2,963	4,541
6	11,089	6,481	4,608	10,833	6,364	4,470	10,828	6,375	4,453
7	4,270	3,104	1,166	4,242	3,145	1,097	4,170	3,076	1,095
8	3,683	2,601	1,082	3,726	2,626	1,100	3,625	2,611	1,014
9	4,340	2,267	2,073	4,357	2,272	2,085	4,226	2,241	1,984
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

フィリピン									PHL
千人									thousands
ISCO -08	2018年			2019			2020		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	41,157	25,424	15,732	42,428	25,984	16,445	39,378	24,179	15,199
1	6,588	3,119	3,469	4,840	2,395	2,445	3,557	1,673	1,883
2	2,243	812	1,431	2,372	827	1,546	2,226	790	1,435
3	1,663	859	804	1,762	871	891	1,484	735	749
4	2,389	969	1,420	2,581	1,055	1,526	2,467	1,002	1,465
5	6,171	2,851	3,320	7,805	3,219	4,586	7,594	3,110	4,485
6	5,096	4,223	874	4,996	4,121	875	5,260	4,337	923
7	3,230	2,763	467	3,363	2,873	490	2,829	2,411	417
8	2,623	2,347	276	3,275	2,948	327	3,125	2,816	309
9	11,060	7,392	3,668	11,348	7,592	3,756	10,738	7,212	3,526
0	94	90	4	87	84	4	100	93	7
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

第 3-4 表 性別・職業別就業者数 (続き)

Table 3-4: Employment by occupation and sex (cont.)

オーストラリア 4)									AUS
千人									thousands
ISCO -08	2018年			2019			2020		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	12,598	6,686	5,911	12,894	6,822	6,072	12,673	6,691	5,982
1	1,381	859	522	1,322	804	518	1,410	846	563
2	2,786	1,238	1,549	2,932	1,326	1,605	3,028	1,346	1,682
3	1,635	749	887	1,719	789	930	1,626	767	859
4	1,195	293	903	1,225	301	924	1,229	305	924
5	2,141	666	1,475	2,169	679	1,490	2,022	658	1,365
6	270	217	53	284	220	64	293	228	65
7	1,345	1,269	76	1,348	1,271	77	1,260	1,182	77
8	840	726	113	866	748	119	805	693	111
9	1,004	671	333	1,030	684	346	1,002	667	335
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	T	M	F	T	M	F	T	M	F
ブラジル									BRA
千人									thousands
ISCO -08	2019年			2020			2021		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計 T	94,129	53,718	40,411	86,875	50,533	36,342	91,188	53,012	38,176
1	4,149	2,554	1,595	3,478	2,198	1,280	3,313	2,028	1,285
2	10,463	4,231	6,232	10,807	4,406	6,402	11,339	4,691	6,648
3	7,288	4,110	3,178	7,367	4,189	3,179	7,698	4,416	3,282
4	7,750	2,962	4,788	7,470	2,915	4,555	7,632	2,919	4,713
5	21,647	9,369	12,278	18,734	8,396	10,338	19,479	8,611	10,867
6	5,122	4,115	1,007	5,175	4,151	1,024	5,522	4,399	1,123
7	12,508	10,369	2,139	11,443	9,496	1,946	12,371	10,235	2,136
8	7,977	6,932	1,045	7,349	6,501	848	7,746	6,809	937
9	15,960	7,959	8,002	13,830	7,213	6,617	14,885	7,863	7,022
0	883	797	85	875	787	87	815	737	78
X	383	320	62	348	281	66	390	305	85
	T	M	F	T	M	F	T	M	F

4) 海外領土、施設人口、軍人を除く。フルタイム及びパートタイム労働者が対象。

出典：日本：総務省統計局 (2022.3) 「労働力調査 (長期時系列)」

イギリス：nomis (<https://www.nomisweb.co.uk/>) 2022年10月現在その他：ILOSTAT (<https://ilostat.ilo.org/data/>) 2022年10月現在

3 就業構造

B表 国際標準職業分類 (ISCO)

Table B: International Standard Classification of Occupations (ISCO)

国際標準職業分類-08		ISCO-08
1	管理職	Managers
2	専門職	Professionals
3	技師, 准専門職	Technicians and associate professionals
4	事務補助員	Clerical support workers
5	サービス・販売従事者	Service and sales workers
6	農林漁業従事者	Skilled agricultural, forestry and fishery workers
7	技能工及び関連職業の従事者	Craft and related trades workers
8	設備・機械の運転・組立工	Plant and machine operators, and assemblers
9	単純作業の従事者	Elementary occupations
0	軍人	Armed forces occupations
X	分類不能, 無回答	Not elsewhere classified or No response

出典: ILO (<https://www.ilo.org/public/english/bureau/stat/isco/>)総務省 (https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/shokgyou/)

第3-5表 就業者の職業別構成比

Table 3-5: Occupational composition of employment

	管理 職	専門 職	技師、 准専 門職	事務 補助 員	サービス ・販売 従事者	農林 漁業 従事者	技能工 及び 関連 職業の 従事者	設備・ 機械の 運転・ 組立工	単純 作業の 従事者	
2021年、%	% of total, 2021									
日本	1.9	18.8		20.7	26.6	3.0	12.9	3.2	11.5	JPN
アメリカ	10.5	20.6	15.7	8.1	13.5	0.4	7.9	5.3	9.7	USA
イギリス	10.5	23.8	15.3	10.2	8.8	9.2	7.0	5.5	9.6	UK
ドイツ	4.1	21.4	20.3	13.3	13.3	1.4	11.6	6.0	7.5	DEU
フランス	6.8	23.0	17.6	8.6	13.5	2.7	9.7	6.4	8.6	FRA
イタリア	3.6	15.1	17.2	12.8	16.7	2.4	13.2	7.1	11.0	ITA
オランダ	5.1	30.1	17.2	9.3	16.7	1.5	6.9	4.0	7.9	NLD
デンマーク	2.8	27.6	18.4	6.5	18.1	1.6	7.4	5.2	10.1	DNK
スウェーデン	6.7	31.7	18.3	5.9	16.5	2.0	8.9	5.3	4.2	SWE
フィンランド	2.4	26.1	18.7	5.3	18.6	3.2	10.2	7.5	6.6	FIN
ノルウェー	8.3	28.7	15.6	5.4	20.3	1.9	8.9	5.7	3.5	NOR
ロシア	5.5	26.2	13.8	2.7	15.6	2.4	13.3	12.9	7.8	RUS
香港	0.0	11.2	18.8	12.6	18.0	0.0	6.4	4.2	17.7	HKG
韓国	1.4	20.4	17.3	11.2	10.1	5.1	8.8	10.9	14.3	KOR
シンガポール	4.1	6.3	4.6	2.4	2.6	0.0	0.6	1.5	1.6	SGP
マレーシア 1)	5.4	12.5	10.3	8.3	24.3	6.1	9.8	11.3	11.9	MYS
タイ 1)	4.3	6.0	4.7	4.4	19.9	28.7	11.1	9.6	11.2	THA
フィリピン 1)	9.0	5.7	3.8	6.3	19.3	13.4	7.2	7.9	27.3	PHL
オーストラリア 1)	11.1	23.9	12.8	9.7	16.0	2.3	9.9	6.4	7.9	AUS
ブラジル	3.6	12.4	8.4	8.4	21.4	6.1	13.6	8.5	16.3	BRA
ISCO-08(*)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

*Occupational classification: 1) Managers; 2) Professionals; 3) Technicians and associate professionals; 4) Clerical support workers; 5) Service and sales workers; 6) Skilled agricultural, forestry and fishery workers; 7) Craft and related trades workers; 8) Plant and machine operators, and assemblers; 9) Elementary occupations.

注：原則2021年の数値。出典及び各国の注は「第3-4表 性別・職業別就業者数」(p.117～126)に準ずる。分類0（軍人）及び分類X（分類不能）を除くため、1～9を合算しても100（就業者計）にはならない。

1) 2020年の数値。

3 就業構造

第 3-6 表 管理職に占める女性の割合

Table 3-6: Women's share of managerial employment

	2010年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
									%
日本 1)	11.1	12.4	12.9	13.2	14.8	14.7	13.2	13.2	JPN
アメリカ	39.2	39.6	39.7	40.5	40.7	40.7	41.1	41.4	USA
イギリス	33.5	34.0	34.4	34.9	35.1	35.7	36.6	36.5	UK
ドイツ	29.9	29.3	29.3	29.2	29.4	29.4	28.9	29.2	DEU
フランス	38.5	31.7	32.9	33.4	34.4	34.7	35.5	37.8	FRA
イタリア	32.8	26.6	27.7	27.5	27.0	27.8	27.3	28.6	ITA
オランダ	28.4	26.0	25.4	26.6	25.7	27.1	26.2	26.0	NLD
デンマーク	21.9	26.3	27.5	26.3	26.1	26.8	27.9	28.2	DNK
スウェーデン	31.4	39.5	39.3	38.9	38.1	40.3	42.3	43.0	SWE
フィンランド	30.4	33.3	34.1	31.3	31.8	36.9	37.5	36.5	FIN
ノルウェー	34.4	36.0	37.9	38.3	35.6	34.5	34.0	33.5	NOR
ロシア	38.6	38.7	42.0	41.3	41.8	44.7	45.7	46.2	RUS
韓国	9.4	10.5	9.8	12.3	14.5	15.4	15.6	16.3	KOR
シンガポール	34.3	33.9	34.8	33.9	35.8	36.7	37.2	38.1	SGP
マレーシア	24.9	22.5	20.4	22.1	24.6	23.3	24.9	—	MYS
タイ	25.8	32.8	32.7	33.6	33.9	35.1	39.2	—	THA
フィリピン	53.7	47.1	49.1	51.5	52.7	50.5	53.0	—	PHL
オーストラリア	34.4	37.7	36.7	38.7	37.8	39.2	40.0	—	AUS
ブラジル	—	38.5	39.0	39.1	38.7	38.5	36.8	38.8	BRA

出典：日本：総務省統計局（2022.3）「労働力調査（長期時系列）」

イギリス：nomis (<https://www.nomisweb.co.uk/>) 2022年10月現在その他：ILOSTAT (<https://ilostat.ilo.org/data/>) 2022年10月現在

注：ここでいう「管理職」とは、国際標準職業分類（ISCO-08またはISCO-88）による大分類の「区分1」に相当する者を指す。本表のうち日本、イギリスについては、「区分1」の就業者総数（男女計）に対する同区分の女性就業者割合をJILPTにおいて算出。

1) 日本独自の職業分類基準を採用しているため、国際標準職業分類とは異なる。

第 3-7 表 従業上の地位別就業者数

Table 3-7: Employment by professional status

	2019年	2020	2021	2019年	2020	2021	
雇用人							Employees
	千人	thousands		対就業者割合	% of total employment		
日本	60,040	59,730	59,730	89.3	89.5	89.6	JPN
アメリカ	147,920	138,459	142,517	93.9	93.7	93.4	USA
カナダ	17,436	16,447	17,415	91.8	91.4	92.3	CAN
イギリス	27,649	27,751	28,023	84.3	85.4	86.5	UK
ドイツ	38,232	—	37,787	90.2	—	91.1	DEU
フランス	23,834	23,632	24,189	87.8	87.5	87.2	FRA
イタリア	18,043	17,741	17,625	77.2	77.5	78.1	ITA
オランダ	7,475	7,421	7,810	83.2	82.6	84.1	NLD
デンマーク	2,638	2,609	2,636	91.7	91.5	90.9	DNK
スウェーデン	4,626	4,562	4,558	90.2	90.1	89.0	SWE
フィンランド	2,220	2,189	2,193	86.5	86.6	85.2	FIN
ノルウェー	2,540	2,536	2,643	93.5	93.8	94.5	NOR
ロシア	67,109	65,833	—	93.3	93.2	—	RUS
韓国	20,440	20,332	20,753	75.4	75.6	76.1	KOR
オーストラリア	11,630	11,481	11,820	90.3	90.6	90.5	AUS
ニュージーランド	2,196	2,189	2,235	81.5	80.2	79.9	NZL
自営業主							Employers and persons working on own account
	千人	thousands		対就業者割合	% of total employment		
日本	5,310	5,260	5,210	7.9	7.9	7.8	JPN
アメリカ	9,540	9,253	9,957	6.1	6.3	6.5	USA
カナダ	1,529	1,532	1,436	8.1	8.5	7.6	CAN
イギリス	—	—	—	—	—	—	UK
ドイツ	3,958	—	3,485	9.3	—	8.4	DEU
フランス	3,203	3,274	3,399	11.8	12.1	12.3	FRA
イタリア	5,013	4,889	4,699	21.5	21.3	20.8	ITA
オランダ	1,459	1,515	1,430	16.2	16.9	15.4	NLD
デンマーク	229	232	246	8.0	8.1	8.5	DNK
スウェーデン	492	488	514	9.6	9.6	10.0	SWE
フィンランド	335	330	356	13.1	13.0	13.8	FIN
ノルウェー	172	161	125	6.3	6.0	4.5	NOR
ロシア	4,567	4,503	—	6.3	6.4	—	RUS
韓国	e 5,605	—	—	e 20.7	—	—	KOR
オーストラリア	1,222	1,167	1,220	9.5	9.2	9.3	AUS
ニュージーランド	478	515	533	17.7	18.9	19.1	NZL

e) 推計値。

e) Estimated.

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労使関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-7 表 従業上の地位別就業者数 (続き)

Table 3-7: Employment by professional status (cont.)

	2019年	2020	2021	2019年	2020	2021	
無賃家族従業者				Unpaid family workers			
	千人		thousands	対就業者割合		% of total employment	
日本	1,440	1,400	1,390	2.1	2.1	2.1	JPN
アメリカ	79	84	107	0.1	0.1	0.1	USA
カナダ	20	20	15	0.1	0.1	0.1	CAN
イギリス	129	100	87	0.4	0.3	0.3	UK
ドイツ	119	—	147	0.3	—	0.4	DEU
フランス	77	74	96	0.3	0.3	0.3	FRA
イタリア	299	269	225	1.3	1.2	1.0	ITA
オランダ	33	34	34	0.4	0.4	0.4	NLD
デンマーク	11	11	10	0.4	0.4	0.4	DNK
スウェーデン	13	14	28	0.2	0.3	0.6	SWE
フィンランド	10	10	19	0.4	0.4	0.8	FIN
ノルウェー	—	—	u 6	—	—	u 0.2	NOR
ロシア	257	266	—	0.4	0.4	—	RUS
韓国	1,077	—	—	4.0	—	—	KOR
オーストラリア	24	27	25	0.2	0.2	0.2	AUS
ニュージーランド	19	21	22	0.7	0.8	0.8	NZL

u) 信頼性の低い数値。

u) Unreliable

出典： OECD (<https://stats.oecd.org>) "Employment by activities and status (ALFS)" 2022年10月現在

注： 軍人を除く。対就業者割合は、JILPTによる算出。

第 3-8 表 就業者に占める短時間労働者の割合

Table 3-8: Part-time employment as a proportion of total employment

	2005年	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	
									%
男女計									Total
日本 1)	18.3	20.2	22.7	22.4	23.9	25.2	25.8	25.6	JPN
アメリカ 2)	12.8	14.1	13.3	12.9	12.7	12.4	11.7	11.7	USA
カナダ 3)	18.4	19.5	18.9	19.2	18.8	19.0	18.0	18.4	CAN
イギリス 4)	22.9	24.6	24.0	23.8	23.6	23.4	22.6	21.7	UK
ドイツ 4)	21.5	21.8	22.4	22.2	22.0	22.0	22.5	22.2	DEU
フランス 4)	13.2	13.7	14.4	14.3	14.0	13.4	13.1	13.8	FRA
イタリア 4) 5)	14.7	16.4	18.7	18.5	18.0	17.9	17.9	17.0	ITA
オランダ 4)	35.6	37.1	38.5	37.3	37.3	37.0	36.9	36.0	NLD
デンマーク 4)	17.3	19.2	20.0	19.5	19.1	18.6	18.1	16.6	DNK
スウェーデン 3)	13.5	14.5	14.1	13.8	13.5	13.7	14.1	12.3	SWE
フィンランド 6)	11.2	12.5	13.4	14.0	14.1	14.6	14.1	17.1	FIN
ノルウェー 7)	20.8	20.4	20.1	19.3	19.3	19.9	19.6	20.3	NOR
ロシア	5.6	4.3	4.2	3.6	3.9	4.0	4.1	—	RUS
韓国 2)	8.9	10.6	10.5	11.4	12.2	14.0	15.4	16.1	KOR
オーストラリア 8)	24.0	24.8	25.2	25.7	25.6	25.5	—	—	AUS
ニュージーランド 9)	21.6	21.8	21.4	21.0	20.5	19.5	19.7	20.0	NZL
メキシコ 4)	16.3	18.2	18.1	17.2	17.0	17.6	17.7	17.9	MEX
男									Male
日本 1)	8.8	10.4	12.0	11.5	12.7	14.2	15.0	15.0	JPN
アメリカ 2)	7.8	9.3	8.8	8.5	8.4	8.3	8.0	7.9	USA
カナダ 3)	10.9	12.2	12.2	12.9	12.4	13.0	12.3	13.1	CAN
イギリス 4)	9.5	11.6	11.9	11.8	11.7	11.8	11.5	11.3	UK
ドイツ 4)	7.3	7.8	9.3	9.4	9.3	9.5	10.0	10.0	DEU
フランス 4)	5.0	5.7	6.9	7.0	7.1	6.9	6.9	7.3	FRA
イタリア 4) 5)	5.3	6.3	8.5	8.3	7.8	7.8	8.0	7.9	ITA
オランダ 4)	15.3	17.2	19.5	18.9	19.2	19.4	19.4	19.3	NLD
デンマーク 4)	11.7	13.5	15.0	14.9	14.3	14.0	13.8	12.5	DNK
スウェーデン 3)	8.5	10.1	10.6	10.4	10.2	10.5	11.4	9.5	SWE
フィンランド 6)	7.9	9.2	10.6	10.9	10.7	10.7	11.3	13.3	FIN
ノルウェー 7)	10.0	11.5	12.3	11.8	11.7	12.6	13.0	13.6	NOR
ロシア	3.9	3.0	2.9	2.5	2.7	3.0	3.1	—	RUS
韓国 2)	6.4	7.2	6.8	7.3	7.8	8.9	10.4	10.7	KOR
オーストラリア 8)	12.0	13.5	14.3	15.0	15.0	15.3	—	—	AUS
ニュージーランド 9)	10.0	11.3	11.1	11.5	11.2	10.6	11.2	11.5	NZL
メキシコ 4)	10.1	12.2	12.3	11.5	11.3	11.7	12.4	12.5	MEX

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-8 表 就業者に占める短時間労働者の割合 (続き)

Table 3-8: Part-time employment as a proportion of total employment (cont.)

	2005年	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	%
女									Female
日本 1)	31.7	33.9	36.9	36.7	38.3	39.1	39.5	39.0	JPN
アメリカ 2)	18.3	19.2	18.0	17.7	17.2	16.8	15.7	15.7	USA
カナダ 3)	27.0	27.5	26.3	26.2	25.8	25.6	24.5	24.4	CAN
イギリス 4)	38.5	39.3	37.7	37.4	36.9	36.2	34.6	33.1	UK
ドイツ 4)	38.8	38.2	37.4	36.8	36.6	36.3	36.7	36.0	DEU
フランス 4)	22.6	22.5	22.3	22.1	21.4	20.4	19.7	20.5	FRA
イタリア 4) 5)	28.8	31.0	32.8	32.4	31.9	31.7	31.4	29.5	ITA
オランダ 4)	60.7	60.6	60.7	58.6	58.0	56.9	56.8	54.7	NLD
デンマーク 4)	23.9	25.4	25.8	24.6	24.6	23.8	23.1	21.2	DNK
スウェーデン 3)	19.0	19.4	18.0	17.5	17.2	17.3	17.1	15.6	SWE
フィンランド 6)	14.8	16.0	16.4	17.4	17.8	18.7	17.2	21.1	FIN
ノルウェー 7)	32.9	30.2	28.8	27.6	27.7	28.0	27.1	27.9	NOR
ロシア	7.4	5.6	5.6	4.7	5.2	5.2	5.2	—	RUS
韓国 2)	12.4	15.5	15.8	16.9	18.2	20.8	22.1	23.2	KOR
オーストラリア 8)	38.7	38.6	38.0	38.0	37.5	37.1	—	—	AUS
ニュージーランド 9)	35.1	33.7	33.1	31.9	31.1	29.5	29.3	29.4	NZL
メキシコ 4)	27.2	28.1	27.5	26.4	26.1	26.9	26.2	26.4	MEX

出典：OECD (<https://stats.oecd.org/>) "Incidence of FTPT employment - common definition" 2022年10月現在

注：本表における短時間労働者の定義は、主たる仕事について通常の労働時間が週30時間未満の者。

- 1) 労働時間は通常の労働時間ではなく、実労働時間。
- 2) 賃金・給与労働者のみが対象。通常の労働時間。
- 3) 主たる仕事の通常の労働時間。
- 4) 通常の労働時間（所定外労働時間、残業時間を含む）。
- 5) 2005年は16歳以上、2010年以降は16歳以上が対象。
- 6) 主たる仕事の通常の労働時間（通常の残業時間を含む）。
- 7) 通常の労働時間（所定の、若しくは契約で定められた時間）のみ。所定外労働時間、残業時間は含まず。2005年は16歳以上、2010年以降は15歳以上が対象。
- 8) 通常の労働時間（直前3か月間の労働時間パターンを参照したもの。残業時間が直前3か月間の労働時間パターンに常時含まれていた場合はこれも含む）。
- 9) 通常の労働時間（労働が発生した全ての時間）。

第 3-9 表 短時間労働者に占める女性の割合

Table 3-9: Gender share of part-time employment

	2005年	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	
	women's share, %								
日本 1)	71.8	70.3	69.8	70.9	70.1	68.5	67.4	67.4	JPN
アメリカ 2)	68.4	66.3	65.5	65.8	65.5	65.4	64.5	64.9	USA
カナダ 3)	68.5	67.3	66.0	64.7	65.2	64.0	63.8	62.6	CAN
イギリス 4)	77.8	75.0	73.7	73.9	73.8	73.4	73.4	72.9	UK
ドイツ 4)	81.4	80.9	77.9	77.4	77.4	77.0	76.4	75.9	DEU
フランス 4)	79.5	78.1	75.2	74.5	73.8	73.5	73.2	72.9	FRA
イタリア 4) 5)	78.3	77.1	73.5	74.0	74.8	74.9	74.0	73.1	ITA
オランダ 4)	76.3	75.0	72.7	72.9	72.5	72.1	72.1	71.7	NLD
デンマーク 4)	64.0	63.2	60.3	59.5	60.5	59.8	59.4	59.7	DNK
スウェーデン 3)	67.1	63.0	60.7	60.4	60.5	59.8	57.3	59.1	SWE
フィンランド 6)	63.6	62.2	59.5	59.8	60.8	61.8	58.5	59.3	FIN
ノルウェー 7)	74.6	70.6	67.8	67.7	67.8	66.5	65.0	64.7	NOR
ロシア	65.3	64.3	64.9	64.1	64.7	62.4	61.6	—	RUS
韓国 2)	57.9	60.3	62.6	62.7	63.2	63.5	60.8	61.8	KOR
オーストラリア 8)	72.4	70.4	69.6	69.0	68.8	68.3	—	—	AUS
ニュージーランド 9)	75.1	72.5	72.4	70.9	71.1	71.3	69.8	69.5	NZL
メキシコ 4)	60.9	58.1	57.8	58.5	58.9	59.7	57.3	57.6	MEX

出典：OECD (<https://stats.oecd.org/>) "Incidence of FTPT employment - common definition" 2022年10月現在

注：各国の短時間労働者の定義については「第3-8表 就業者に占める短時間労働者の割合」(p.133)を参照。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-10 表 テンポラリー労働者の割合

Table 3-10: Share of temporary employment

	2005年	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	
									%
日本 1)	14.1	13.9	7.6	7.1	13.0	13.0	12.8	12.4	JPN
アメリカ 2)	4.2	—	—	4.0	—	—	—	—	USA
カナダ 3)	13.2	13.4	13.4	13.8	13.4	12.9	11.6	12.1	CAN
イギリス 4)	5.8	6.1	6.2	5.9	5.6	5.2	5.4	5.6	UK
ドイツ 4)	14.2	14.5	13.1	12.9	12.6	12.0	10.9	11.4	DEU
フランス 4)	13.9	15.1	16.7	16.9	16.7	16.3	15.4	15.1	FRA
イタリア 4)	12.2	12.7	14.0	15.4	17.0	17.0	15.1	16.4	ITA
オランダ 4)	15.5	18.5	20.2	21.8	21.5	20.3	18.0	27.4	NLD
デンマーク 4)	9.8	8.4	8.6	12.3	10.7	10.6	10.8	10.8	DNK
スウェーデン 4)	15.8	16.4	17.2	16.9	16.8	16.6	15.4	15.2	SWE
フィンランド 5)	16.6	15.6	15.4	16.1	16.5	15.8	14.9	16.6	FIN
ノルウェー 6)	9.5	8.4	8.1	8.5	8.4	8.0	7.8	9.3	NOR
ロシア 7)	12.2	9.1	9.0	8.3	7.8	8.0	7.5	—	RUS
韓国 8)	27.3	22.9	22.2	20.6	21.2	24.4	26.1	28.3	KOR
オーストラリア 9)	6.7	5.2	5.4	5.3	—	—	—	—	AUS
ニュージーランド	—	—	—	8.2	7.8	7.7	7.6	8.0	NZL

出典：日本：総務省統計局（2022.2）「労働力調査（基本集計）」

その他：OECD (<https://stats.oecd.org/>) "Incidence of permanent employment" 2022年10月現在

注：テンポラリー労働者の定義は国により異なる。

- 1) 全産業。本表における日本のテンポラリー労働者は、2017年迄は「臨時雇」と「日雇」の計、2018年以降は雇用契約期間が1年以下の者を対象とし、雇用者に対する割合をJILPTにおいて算出。また、2013年に調査票の変更があり、それ以前のデータとは接続しない。
- 2) 対象労働者の範囲は広範。雇用契約の継続が可能であるにもかかわらず自己都合により離職が見込まれる者を除き、雇用の継続が見込まれない全賃金・俸給労働者が対象。派遣労働者、契約労働者、また、特定企業の業務を1年以下の期間を定めて請負う自営業者及び独立請負人も含まれる。
- 3) 予め終了日が定められた雇用又はある役務の完成をもって終了する予定の雇用、あるいは期間の定めのある契約に基づく仕事に従事する労働者が対象。
- 4) 労使双方の合意により、特定日、役務の完成、あるいは代替要員による臨時的な補充がなされていた被用者の復帰など客観的な条件により雇用期間が定められた労働者。期間の定めのある雇用契約の場合、終了条件が記載されるのが一般的。具体的には、臨時・季節雇用、派遣事業所を介した雇用、特定の訓練・養成契約に基づく労働者等が対象。
- 5) 期間の定めのある契約に基づく仕事に従事する労働者が対象。
- 6) 主たる仕事が次の条件の労働者が対象。有期雇用契約、派遣業者を通じた臨時雇用、養成訓練生、試用期間中の労働者、臨時雇用又は季節雇用に従事する労働者、特定の請負契約に基づく労働者、12か月未満の雇用あるいは日雇労働に従事する労働者が対象。
- 7) 期間の定めのある仕事に従事する労働者が対象。具体的には、季節雇用、試用期間、有期雇用契約、派遣・請負業者を介した雇用、臨時雇用の労働者、養成訓練生、オンコールワーカーなど。
- 8) 期間の定めのある雇用契約に基づく労働者、無期雇用契約だが本人の意に反して解雇される可能性のある場合、派遣業者を通じた雇用、オンコールワーカー。
- 9) 期間の定めのある雇用契約に基づく労働者、派遣労働者、雇用期間が1年未満の臨時・季節労働者が対象。2005年の欄は2006年の数値。

第3-11表 性別・年齢階級別テンポラリー労働者の割合

Table 3-11: Share of temporary employment by sex and age group

	計	男	女	15～24	25～54	55～64	65歳～	年齢階級
2021年								%
日本	12.4	8.8	16.7	11.0	8.6	18.5	25.7	JPN
アメリカ 1)	4.0	4.1	3.8	8.2	3.3	2.9	4.6	USA
カナダ	12.1	11.5	12.8	30.2	8.9	8.0	16.0	CAN
イギリス	5.6	5.0	6.2	15.2	4.0	4.7	8.6	UK
ドイツ 2)	11.4	11.6	11.2	45.0	8.8	2.9	10.7	DEU
フランス	15.1	14.4	15.7	56.1	11.1	7.7	25.8	FRA
イタリア	16.4	15.7	17.3	61.7	15.9	7.4	8.3	ITA
オランダ	27.4	25.8	29.1	68.2	20.5	10.1	31.7	NLD
デンマーク	10.8	9.1	12.5	32.9	8.2	2.7	13.1	DNK
スウェーデン	15.2	13.3	17.2	52.9	11.1	5.9	43.4	SWE
フィンランド	16.6	14.0	19.3	40.9	14.1	9.5	37.3	FIN
ノルウェー	9.3	7.9	10.9	30.4	7.0	2.4	9.3	NOR
ロシア 2)	7.5	9.5	5.4	20.5	6.9	5.8	8.5	RUS
韓国	28.3	25.3	32.0	34.9	20.3	36.6	70.9	KOR
オーストラリア 1)	5.3	4.7	5.9	5.5	5.5	4.3	4.3	AUS
ニュージーランド*	8.0	6.6	9.4	18.8	5.7	5.4	11.1	NZL
	Total	Male	Female	15-24	25-54	55-64	65+	Age group

出典：日本：総務省統計局（2022.2）「労働力調査（基本集計）」

その他：OECD (<https://stats.oecd.org/>) "Incidence of permanent employment" 2022年10月現在

注：各国のテンポラリー労働者の定義については「第3-10表 テンポラリー労働者の割合」（p.135）を参照。

1) 2017年値。

2) 2020年値。

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-12 表 労働者に占める派遣労働者の割合

Table 3-12: Temporary agency workers as a proportion of total workforce

	2005年	2010	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
									%
日本	1.7	1.5	2.0	2.0	2.4	2.0	2.3	2.3	JPN
アメリカ	2.2	1.8	2.2	2.1	2.1	2.0	2.0	1.6	USA
カナダ	—	0.6	0.7	—	—	—	—	—	CAN
イギリス	4.2	3.0	3.8	4.1	5.1	3.4	3.0	2.9	UK
ドイツ	1.2	2.0	2.4	2.4	1.9	2.4	1.9	1.7	DEU
フランス	2.3	2.0	2.1	2.2	2.6	2.9	2.9	2.3	FRA
イタリア	0.7	0.9	1.2	1.3	1.2	1.6	1.5	1.2	ITA
オランダ	2.2	2.5	3.0	3.3	3.3	3.3	3.0	2.6	NLD
ベルギー	1.8	1.9	2.2	2.4	2.5	2.5	2.4	2.1	BEL
ルクセンブルク	2.1	1.9	2.8	3.0	—	—	1.2	0.4	LUX
デンマーク	0.6	0.8	0.8	—	0.9	0.8	0.4	0.2	DNK
スウェーデン	0.7	1.3	1.5	—	1.1	2.0	2.0	1.2	SWE
フィンランド	0.7	0.9	1.2	1.3	1.6	1.6	1.6	0.5	FIN
ノルウェー	0.6	0.9	1.1	1.1	1.3	1.1	1.0	1.1	NOR
オーストリア	1.2	1.6	1.8	—	1.8	2.0	1.7	1.7	AUT
スペイン	0.7	0.5	0.6	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	ESP
ポルトガル	0.9	1.7	2.0	—	—	—	1.1	0.4	PRT
韓国	0.3	0.4	—	—	—	—	—	—	KOR
オーストラリア	—	2.7	3.6	—	2.7	2.7	2.7	2.0	AUS
ニュージーランド	0.5	0.3	3.3	—	—	1.5	1.4	2.6	NZL
ブラジル	—	1.0	0.8	0.8	0.6	0.5	1.8	0.3	BRA
メキシコ	—	0.1	0.9	—	—	—	—	—	MEX

出典：The World Employment Confederation（2022.2）*Economic Report 2022* 及び各年版

注：Agency work penetration rate. 常用雇用換算された派遣労働者の従業者総数に占める割合。国によって定義等が異なる場合があるので、較には注意を要する。

参考：労働力調査を用いた場合の日本の派遣労働者割合

Reference: Proportion of temporary agency workers based on Japanese Labour Force Survey

	2015年	2018	2019	2020	2021
役員を除く雇用者に占める派遣労働者の割合 a)	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5
就業者に占める派遣労働者の割合 b)	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1

a) % of total employee, excl. executive of company or corporation; b) % of total employed person.

出典：総務省統計局（2022.2）「労働力調査（基本集計）」

注：表中の派遣労働者は、「労働者派遣事業所の派遣社員」を指す。割合はJILPTによる算出。

第 3-13-1 表 勤続年数別雇用者割合

Table 3-13-1: Composition of employees by length of service

	1年未満 less than 1 year	1-2	3-4	5-9	10-14	15-19	20年以上 20 or more years	
2021年								%
日本 1)	7.3	14.8	11.7	19.4	14.1	10.1	22.6	JPN
アメリカ 2)	24.3	10.9	17.9	19.9	9.7	6.4	10.8	USA
	1か月未満 less than 1 month	1-5	6-11か月 6-11 mos.	1-2年 1-2 yrs.	3-4	5-9	10年以上 10 or more years	
アメリカ 3)	—	13.0	9.2	12.7	17.8	19.3	28.0	USA
カナダ	—	11.0	8.2	20.7	13.1	17.0	30.0	CAN
イギリス	1.3	8.3	6.2	21.0	14.8	17.8	30.6	UK
ドイツ	1.6	6.4	7.2	45.6			39.2	DEU
フランス	2.2	7.6	7.0	40.7			42.6	FRA
イタリア	1.6	6.6	5.0	38.3			48.6	ITA
オランダ	2.3	10.0	9.0	47.2			31.4	NLD
ベルギー	1.6	6.3	5.9	42.9			43.3	BEL
デンマーク	2.2	10.0	9.8	52.2			25.8	DNK
スウェーデン	2.1	8.9	7.9	51.3			29.8	SWE
フィンランド	3.0	11.0	8.6	45.7			31.7	FIN
ノルウェー	0.5	6.3	7.7	54.4			31.1	NOR
スペイン	2.6	9.2	7.0	39.1			42.1	ESP
韓国	6.5	14.1	10.5	21.3	11.5	14.9	21.3	KOR

出典：日本：厚生労働省（2022.3）「2021年賃金構造基本統計調査」

アメリカ（上段）：連邦労働統計局(BLS)（2022.9）Employee Tenure in 2022

その他：OECD (<https://stats.oecd.org/>) "Employment by job tenure intervals" 2022年10月現在

注 1) 2021年6月末時点における、民営事業所の常用労働者が対象。短時間労働者を除く。JILPTにて算出。

2) 2022年1月現在。1年以上3年未満の欄は、JILPTによる算出。

3) OECDによる2020年の数値。

3 就業構造

第 3-13-2 表 性別・年齢階級別勤続年数

Table 3-13-2: Length of service by sex and age group

	計	男	女	15～24	25～54	55～64	65歳～	年齢階級
2021年								years
日本 1)	12.3	13.7	9.7	2.0	11.6	19.5	16.8	JPN
アメリカ 2)	4.1	4.3	3.8	—	—	9.8	9.9	USA
イギリス 3)	7.8	7.9	7.8	1.6	7.5	13.9	11.0	UK
ドイツ	10.5	10.8	10.1	1.8	8.9	19.2	13.8	DEU
フランス	10.6	10.6	10.7	1.2	9.7	20.5	17.2	FRA
イタリア	12.0	12.1	11.9	1.6	10.2	20.6	21.0	ITA
オランダ	8.3	8.7	7.9	1.6	7.6	17.1	15.7	NLD
ベルギー	10.8	10.7	10.9	1.3	9.4	21.3	13.8	BEL
デンマーク	7.1	7.2	7.1	1.5	6.1	13.4	17.5	DNK
スウェーデン	8.3	8.1	8.5	1.3	6.9	16.4	16.8	SWE
フィンランド	8.2	8.3	8.1	1.1	7.0	16.3	13.1	FIN
ノルウェー	8.3	8.6	8.1	1.7	7.0	17.0	19.4	NOR
スペイン	10.3	10.5	10.1	1.1	8.8	19.8	20.8	ESP
韓国	5.9	6.9	4.7	0.8	6.3	7.8	3.3	KOR
	Total	Male	Female	15-24	25-54	55-64	65+	Age group

出典：日本：厚生労働省（2022.3）「2021年賃金構造基本統計調査」

アメリカ：連邦労働統計局(BLS)（2022.9）*Employee Tenure in 2022*

その他：OECD.Stat “Employment by job tenure intervals (Dependent employment)” 2022年10月現在

注：アメリカは中位数、その他の国は平均年数。

1) 2021年6月末時点における、民営事業所の常用労働者が対象。短時間労働者を除く。年齢階級別はJILPTにて算出。

2) 2022年1月現在。16～54歳の小区分公表値は次のとおり。

16～17歳：0.7年、18～19歳：0.7年、20～24歳：1.2年、25～34歳：2.8年、35～44歳：4.7年、45～54歳：6.9年。

3) 2019年の数値。

第 3-14 表 青少年の転職に対する考え方

Table 3-14: Youth's views on job changes

調査年		つらくても 転職せず 一生一つの 職場で働き 続けるべき	できるだけ 転職せずに 同じ職場で 働きたい	職場に強い 不満があれば 転職もや むを得ない	職場に不 満があれば 転職する 方がよい	自分の才能 を生かすた め積極的に 転職する 方がよい	わからない ・無回答	%
日本	2018	4.4	23.6	26.4	22.8	10.1	12.6	JPN
	2013	4.8	31.5	28.6	14.2	8.5	12.4	
	2008	12.5	—	57.5	17.2	10.7	2.1	
	2003	10.3	—	53.0	17.9	14.2	4.6	
アメリカ	2018	15.6	24.8	23.5	21.4	4.6	10.1	USA
	2013	7.2	28.0	28.6	21.5	4.1	10.6	
	2008	6.4	—	20.6	54.5	14.3	4.2	
	2003	2.5	—	21.9	56.2	15.0	4.4	
イギリス	2018	8.6	22.3	29.0	24.5	3.5	12.1	UK
	2013	7.1	22.4	28.3	28.2	3.3	10.6	
	2008	2.4	—	20.6	55.3	17.0	4.7	
ドイツ	2018	7.1	17.4	30.0	33.7	5.1	6.8	DEU
	2013	3.5	15.3	34.5	35.9	4.6	6.2	
	2003	2.1	—	34.4	49.2	11.1	3.1	
フランス	2018	9.1	19.2	29.0	20.6	11.6	10.7	FRA
	2013	3.9	25.2	30.3	18.8	12.0	9.7	
	2008	4.8	—	32.3	45.7	15.6	1.5	
スウェーデン	2018	8.0	15.5	22.2	38.5	6.5	9.3	SWE
	2013	1.7	14.7	20.4	47.4	7.2	8.6	
	2003	0.8	—	6.1	49.7	42.0	1.5	
韓国	2018	3.9	33.9	19.6	20.7	13.3	8.5	KOR
	2013	4.5	43.7	18.5	19.2	9.6	4.5	
	2008	10.4	—	35.3	22.1	29.4	2.8	
	2003	8.4	—	43.0	19.0	27.7	1.9	
Survey year		a	b	c	d	e	f	

a) One should stay at the same place of work for one's entire career, no matter how hard that might be; b) I would prefer to stay at the same place of work, without changing jobs, if possible; c) Changing jobs is unavoidable if one feels strong dissatisfaction with one's place of work; d) It is better to change jobs if one feels dissatisfaction with one's place of work; e) Even if one does not feel dissatisfaction, it is better to aggressively change jobs for the purpose of applying one's talents; f) Don't know.

出典：2013年以降：内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（2013年度・2018年度）」

2008年以前：内閣府「世界青年意識調査（第7回・第8回）」

注：2013年以降の調査は13～29歳が対象、2008年以前の調査は18～24歳が対象。

3 就業構造

第 3-15 表 高齢者の退職年齢

Table 3-15: Retirement age of older persons

回答者の 年齢	退職した年齢						%
	まだ仕事を 辞めていない	50歳未満	50～59	60～64	65～69	70～	
							%
日本							JPN
60-64	52.2	14.6	16.3	16.3	—	—	
65-69	30.1	14.6	16.1	22.7	15.0	—	
70-74	23.3	8.9	12.7	31.4	18.2	5.2	
75-79	10.1	10.6	12.6	31.4	20.3	15.0	
80+	7.6	8.5	12.1	30.9	20.2	19.7	
アメリカ							USA
60-64	45.6	11.2	20.6	17.2	0.6	—	
65-69	20.0	4.2	18.6	34.1	20.0	—	
70-74	11.8	3.5	14.3	34.0	26.6	8.9	
75-79	10.3	3.0	18.8	26.1	26.1	14.5	
80+	3.2	3.8	21.0	27.4	23.7	19.4	
ドイツ							DEU
60-64	52.3	9.4	12.8	20.3	—	—	
65-69	12.9	2.4	11.0	45.0	28.7	—	
70-74	7.4	4.0	12.9	47.5	25.2	3.0	
75-79	2.1	5.3	11.2	46.8	30.9	3.7	
80+	1.9	7.6	17.0	41.5	24.5	7.5	
スウェーデン							SWE
60-64	71.7	0.7	3.8	18.1	—	—	
65-69	10.8	0.3	3.5	33.7	51.4	—	
70-74	1.8	0.9	3.6	34.9	51.6	6.3	
75-79	0.9	0.4	6.1	37.8	47.0	6.5	
80+	0.4	0.4	7.8	40.8	42.0	7.1	
Respondents' age	still at work	under 50	50-59	60-64	65-69	70 or over	
							Retirement age

出典：内閣府（2021.3）「2020年度 第9回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」

注 1) 各国それぞれ60歳以上の男女約1000人を調査対象としている。2020年12月～2021年1月に実施。

2) 「収入を伴う仕事を辞めたのは何歳のときか」という設問に対する回答。

第 3-16 表 公共職業安定業務

Table 3-16: Public employment security services

日本	・公共職業安定所（ハローワーク）が全国ネットワークの職業紹介等を直接実施。 ・公共職業安定所の設置数は全国で 544 所。本所 436 所、出張所 95 所、分室 13 室（2022 年 4 月現在）
アメリカ	・公共職業安定所（連邦法に基づき各州が設置・運営）が職業紹介等を直接実施。
イギリス	・公共職業安定機関（ジョブセンタープラス）が全国ネットワークの職業紹介等を直接実施。
ドイツ	・連邦雇用エージェンシー（BA）が全国ネットワークの職業紹介等を直接実施。
フランス	・雇用局（Pôle emploi）が全国ネットワークの職業紹介等を直接実施。 ・なお、2009 年 1 月より、ANPE は失業給付機関（UNEDIC）と統合され、名称が雇用局（Pôle emploi）に変更。
中国	・公共職業紹介機関（職業紹介所）が全国ネットワークの職業紹介等を直接実施。職業紹介所は「就職促進法」（2007 年）に基づき各省、市、自治区、県などが設置・運営している。「インターネットプラス政策」によって、2016 年よりインターネットやスマートフォンを介した公共職業安定業務のオンラインサービスを拡充。
韓国	・全国的な組織網を持つ雇用福祉プラスセンター及び雇用支援センターが、職業紹介、就業支援、雇用保険管理及び職業訓練などの雇用支援に係る業務を実施。

注：欧米先進国において、セーフティネットとしての全国ネットワークの職業紹介等は、「官」が公務員により直接実施。公共職業安定機関の業務に係る市場化テストの実施や、公共職業安定機関の一部について「包括的」民間委託を実施する例は確認されていない。

出典：日本：厚生労働省、イギリス：Gov.uk、ドイツ：連邦雇用エージェンシー（BA）、フランス：雇用局（Pôle emploi）等、中国：人力資源・社会保障部等、韓国：雇用労働部等、各ウェブサイト。

1 経済・経営

2 人口・労働力人口

3 就業・構造

4 失業・失業者・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 福祉・勤労者生活

参 考

3 就業構造

第 3-17 表 労働者派遣事業

Table 3-17: Temporary employment agency services

	日本	アメリカ
根拠法 ・ 定義	・ 労働者派遣法（1985 年制定、直近の改正は 2021 年） ・ 労働者派遣事業とは、派遣元事業主が自己の雇用する労働者を、派遣先の指揮命令を受けて、派遣先のために労働に従事させることを業として行うことをいう（法第 2 条）	・ 連邦法レベルでは、判例、内国歳入法、公正労働基準法、雇用機会均等法、社会保険、労使関係、安全衛生等の各種法令・規則・通達等により、包括的に雇用主としての義務を課している ・ 州レベルでは、届出・登録を求める規制もみられる（マサチューセッツ州、ニュージャージー州、ノースカロライナ州等）
制度 概要	・ 派遣元事業主はすべて許可制 ・ 業務による区別無く、すべての業務（製造業を含む）の派遣期間は上限 3 年 ・ 港湾運送業務、建設業務、警備業務、病院等における医療関連業務は原則禁止（注 1） ・ 派遣先企業は、すべての業務で 3 年ごとに派遣労働者を入れ替えなければならない。3 年を超えて派遣労働者を使用する場合、過半数労組等の意見を聴取し、異なる派遣労働者に替えて使用する。同じ派遣労働者を使用する場合、別の業務（部署）において使用する必要あり ・ 派遣事業者は「雇用安定措置」を義務付け。3 年に達した派遣労働者に対し、①派遣先企業へ直接雇用の依頼、②新たな派遣先の紹介、③自社で無期限に雇用するなどの雇用促進措置を講じる必要あり ・ 日雇派遣の原則禁止（注 2） ・ グループ企業内派遣の 8 割規制 ・ 離職した労働者を離職後 1 年以内に派遣労働者として受け入れることを禁止 ・ 派遣先企業が違法派遣（注 3）を受け入れた場合、その時点で、派遣先から派遣元事業主との労働条件と同一の労働条件を内容とする労働契約の申込みをしたものとみなされる	・ 派遣業界団体は、アメリカ人材派遣業協会 (ASA) ・ 1938 年公正労働基準法 (Fair Labor Standard Act of 1938) 下の連邦規則集 (29 C.F.R. § 791.2) 共同雇用 (Joint Employment) に関する雇用主の義務に関し、連邦労働省の 1968 年の意見書により人材派遣業が適用対象となった。このため、人材派遣企業は雇用主としての義務を負っている
現状・ 実績	・ 派遣労働者数：140 万人 ・ 男女比：男性 37.9%、女性 62.1% （2021 年労働力調査（詳細集計）、総務省）	・ 派遣労働者数：135 万 6 千人 ・ 男女比：男性 52.3%、女性 47.7% ・ 雇用者に占める割合：0.9%（2017 年、BLS）

注 1) 紹介予定派遣の場合等は可能。紹介予定派遣とは、労働者派遣のうち、派遣元事業主が派遣労働者・派遣先に対して職業紹介を行うことを予定しているもの。一定の労働者派遣の期間を経て直接雇用に移行することを念頭に行われる。

2) 適正な雇用管理に支障を及ぼす恐れがないと認められる業務の場合雇用機会の確保が特に困難な場合等は例外。ここでいう日雇派遣は、日々又は 30 日以内の期間を定めて雇用する労働者派遣。

3) 違法派遣とは、①労働者派遣の禁止業務に従事させた場合、②無許可の事業主から労働者派遣を受け入れた場合、③期間制限に違反して労働者派遣を受け入れた場合、④いわゆる偽装請負の場合をいう。

第 3-17 表 労働者派遣事業（続き）

Table 3-17: Temporary employment agency services (cont.)

	イギリス	ドイツ
根拠法	・ 1973 年職業紹介法ほか	・ 1972 年労働者派遣法 (AÜG)
制度概要	・ 派遣労働者とは、派遣事業者との雇用契約又は役務の提供に関する契約に基づき、一時的に派遣先に供給され、派遣先の監督・指示を受けて働く者を指す ・ 取扱職種・派遣期間、事由の制限は設けられていない。ただし、派遣労働者が派遣先企業に雇用されることを禁止してはならないこと等の規制がある ・ 2010 年派遣労働者規則により、派遣期間が 12 週間超の派遣労働者について派遣先における同等の直接雇用労働者との間の労働条件等の均等待遇を規定	・ 労働者派遣業を行う場合、連邦雇用エージェンシーの許可が必要。適用除外業務は、建設業（ただし、一般的拘束力のある労働協約の適用を受ける場合は可能） ・ 派遣期間上限（18 か月。ただし、労働協約による逸脱可能） ・ 同一派遣先企業での均等待遇原則の強化（9 か月以内。ただし、労働協約による逸脱可能） ・ ストライキ代替労働者（スト破り）としての労働者派遣利用禁止 ・ 請負契約の濫用防止
現状・実績	・ 派遣労働者数：28.6 万人 ・ 男女比：男性 50%、女性 50%（2022 年 4-6 月期、労働力調査）	・ 派遣労働者数：約 78.4 万人強 ・ 男女比：男性 70%、女性 30%（2021 年平均、連邦雇用エージェンシー派遣報告 2022）

1 経済経営

2 人口・労働力人口

3 就業構造

4 失業・失業保険・雇用調整

5 賃金・労働費用

6 労働時間・労働時間制度

7 労働組合・労働関係・労働災害

8 教育・職業能力開発

9 勤労者生活・福祉

参考

3 就業構造

第 3-17 表 労働者派遣事業（続き）

Table 3-17: Temporary employment agency services (cont.)

フランス	
根拠法	労働者派遣に係る 1990 年 7 月 12 日法 (最初の労働者派遣を規制する法律の制定は 1972 年 1 月 3 日。これまでの主な改正内容は派遣事由及び派遣期間に関するもの)
制度概要	- 営業開始にあたって、その所在地の労働監督官に事前届出をすることが義務付けられている。また、財務的保証が必要 - 禁止事由：①争議参加労働者の代替（労働法典 L1251-10 条）、②危険業務（L1251-10 条）、③経済的解雇実施後の 6 か月間（L1251-9 条）、④派遣期間満了後、一定期間経過以前の派遣労働の利用（L1251-9 条）（注 4） - 恒常的業務にかかわる派遣労働の利用は禁止。利用事由：①代替要員の補充（L1251-6 条）、②企業の業務量の一時的変化への対応（L1251-6 条）、③本来的に一時的な業務（季節労働等）（L1251-6 条）、④訓練目的の派遣労働及び就職上の困難に直面する者の派遣労働（L1251-7 条）—のいずれかでなければならない - 派遣期間の上限は原則 18 か月、更新は 1 回まで（注 5） - 派遣先労働者との賃金、労働条件の均等原則あり - 派遣先は派遣元の社会保険料の未払いについて連帯責任あり 2005 年 1 月 18 日可決の社会統合計画法により、派遣事業を失業者に対する職業紹介にも拡大（職業紹介の解禁）（L5311-4） - 労使協約に基づき、派遣会社の拠出による派遣労働者訓練基金（FAFTT）及び派遣労働雇用基金（FPETT）が設けられている。派遣業界団体は PRISME
現状・実績	- フルタイム労働者数換算：約 81 万 4 千人（注 6） - 主な業種：製造 34.3%、サービス 47.9%、建設 17.3%、農林水産 0.5%（2022 年第 2 四半期）

注 4) 代替労働、緊急作業の場合を除く。

5) 更新前の契約期間と合わせて 18 か月以上は、原則として不可。他の雇用者の代替要員及び安全確保のための緊急作業の場合は最長 9 か月。

6) 全派遣労働者の派遣労働者としての就業週数の総計を 52 週で除したもので、すなわち派遣労働者が、年間を通じ、フルタイムで派遣労働者として就業していたと仮定した場合の労働者数（Volume de travail en équivalents-emplois à temps plein）。Anne-Lise Biotteau (Dares) (2022) L'emploi intérimaire poursuit son recul au 2e trimestre 2022 (-2,5 %), SEPTEMBRE 2022, DARES INDICATEURS N° 44. 参照。

第 3-17 表 労働者派遣事業（続き）

Table 3-17: Temporary employment agency services (cont.)

中国	
根拠法	・労働契約法（2008 年制定、2013 年改正）、労働派遣暫定規定（2014 年 3 月施行）
制度概要	・派遣労働が可能な業務：臨時的・補助的・代替的業務に限る。「臨時的」は「期間が 6 か月を超えない業務」、「補助的」は「主要な業務のためにサービスを提供する業務」、「代替的」は「労働者が学習・休暇等により就労不可能なため代替する業務」を指す ・派遣労働者数は派遣先が使用する労働者数の 10%を超えてはならない ・派遣労働者は派遣先の労働者と同一の労働に対して同一の賃金を享受する権利を有する。派遣先企業はこの労働者に対して、同等の職務を行う者と同一の賃金を支給しなければならない。派遣元企業が被派遣労働者と締結する労働契約及び派遣先企業と締結する契約は、この規定に適合するものでなければならない ・派遣事業を行うための最低登録資本金は 200 万元。行政の認可も必要 ・労働契約法が定める規定に違反した場合、派遣元企業には期限を定めた是正命令が下される。期限を越えても是正されない場合、派遣元企業に対して、派遣労働者 1 人につき 5000 元以上 1 万元以下の罰金が科される
現状・実績	・派遣労働者数：3700 万人 ・「国民経済産業分類」（2011 年公布）の 20 分類のうち、16 分類の産業で派遣労働者が使用されている ・出稼ぎ労働者の割合：52.6%、平均年齢：31.4 歳、30 歳以下の割合：54.2% ・平均賃金：2508.06 元（2011 年 5 月） ・派遣労働者の割合が高い産業：建築業 36.2%、情報通信業 17.9%、電力・ガス・水道 15.3% ・派遣労働者の割合が高い企業：国有企業 16.2%、外資企業 14.0%（注 7）

注 7) 2011 年推計値。出典は、中華全国総工会（2012.6）「派遣労働者の雇用に関する現状調査」。

3 就業構造

第 3-17 表 労働者派遣事業（続き）

Table 3-17: Temporary employment agency services (cont.)

韓国	
根拠法	・ 派遣労働者の保護等に関する法律（1998 年制定）
制度概要	・ 許可制：労働者派遣事業を行う者は、雇用労働部長官の許可を受けなければならない ・ 対象業務： ① 派遣対象業務：製造業の直接生産工程を除いて、専門知識・技術・経験又は業務の性質などを考慮して適切であると判断される大統領令で定める業務（現在はコンピュータ専門家の業務等 32 業務）、② 一時許可業務：出産・疾病・負傷などで欠員が生じた場合または一時的・断続的に人材を確保する場合における派遣禁止業務以外の全ての業務。 ・ 絶対禁止業務：建設工事現場・荷役・船員等の業務 ・ 派遣期間制限： ① 派遣対象業務：原則 1 年まで。ただし、1 回に限り最長 1 年まで延長可能。延長期間を含む総派遣期間は 2 年を超えることができない。なお、高齢者（55 歳以上）について、2 年を超えて派遣期間を延長できる、② 一時許可業務：出産・疾病・負傷等の場合は、その事由の解消に必要な期間。一時的・断続的に人材を確保する必要がある場合は、最長 6 か月以内の期間 ・ 均等待遇：派遣元と派遣先は、派遣労働者であることを理由に派遣先事業所の同種又は類似の業務を行う労働者と比べて差別的処遇をしてはならない。派遣労働者は、差別的処遇を受けた場合、労働委員会にその是正を申請できる ・ 直接雇用業務：次のような不法派遣の場合は、派遣労働の期間にかかわらず、派遣先が派遣労働者を直接雇用する義務が生じる ① 派遣対象業務以外の業務（一時許可業務を除く）に派遣労働者を使用した場合、② 絶対禁止業務に派遣労働者を使用した場合、③ 派遣対象業務で 2 年を超えて継続的に派遣労働者を使用した場合、④ 雇用労働部長官の許可を得ていない派遣事業者から労働者派遣による役務の提供を受けた場合、⑤ 出産・疾病等による欠員の解消に必要な期間を超えて派遣労働者を使用した場合、⑥ 一時的・断続的事由の派遣で、6 か月を超えて派遣労働者を使用した場合、⑦ 不許可又は重要事項変更の届出をせずに派遣労働者を使用した場合
現状・実績	・ 派遣労働者数：9 万 9887 人（派遣対象業務 9 万 138 人、一時的・断続的事由に基づく業務 9749 人） ・ 主な職種：事務支援従事者 33.2%、個人保護および関連従事者の業務 8.7%、顧客関連事務従事者 7.5%、光学および電子機器従事者 5.6%、飲食調理従事者 16.5% ・ 派遣期間：1～2 年未満 26.8%、9 か月～1 年未満 11.5%、6 か月～9 か月未満 11.3%、3 か月～6 か月 19%、3 か月未満 31.4%（2022 年上半期）

出典：日本：厚生労働省、総務省統計局ウェブサイト

アメリカ：労働統計局 (BLS) (2018.6) *Contingent and Alternative Employment Arrangements, May 2017*

イギリス：Gov.uk ウェブサイト

ドイツ：連邦雇用エージェンシー (BA) ウェブサイト

フランス：政府公共サービスサイト (Contrat de travail temporaire (intérim), Vérifié le 16 août 2021 - Direction de l'information légale et administrative (Premier ministre).

中国：人力資源・社会保障部、中華全国総工会等

韓国：労働政策研究・研修機構 (2012) 「諸外国の労働者派遣制度における派遣労働者の受入期間について」、雇用労働部「2022 年上半期労働者派遣事業現況」及びウェブサイト

第 3-18 表 年齢に関する法制度等（定年等関係）

Table 3-18: Age-based legal mechanisms including mandatory retirement age

	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ
定年年齢等根拠法令	高年齢者等雇用安定法	雇用における年齢差別禁止法 (ADEA) (注 2)	2011 年雇用平等（退職年齢規定廃止）規則	一般雇用機会均等法 (AGG) など
施行年月	2021 年 4 月（注 1）	1967 年	2011 年 4 月	2006 年 8 月
定年制	可（60 歳以上） 65 歳までの雇用確保（義務）に加え、65 歳から 70 歳までの就業機会を確保するため、高年齢者就業確保措置として、① 70 歳までの定年引上げ②定年制の廃止③ 70 歳までの継続雇用制度の導入④ 70 歳まで継続的に業務委託契約を締結する制度の導入⑤ 70 歳まで継続的に社会貢献事業に従事できる制度の導入、のいずれかの措置を講ずる努力義務を新設	原則不可 例外として、特定の業務（パイロットなど）の正常な遂行のため合理的に必要とされる定年制、高級管理職で一定額以上の退職給付（年金）を受給できる者に対する 65 歳以上定年制がある	原則不可 ただし、正当な理由があれば定年制の維持が認められる場合もある	可 AGG10 条 5 項において定年制は差別禁止の例外として列挙されている。また、定年制（労働者が年金受給年齢に達した際、解雇通知なしに雇用関係を終了することを事前に取り決めた合意）は、社会法典第 6 編 (SGB VI)41 条を根拠に合法とみなされている
高齢者の解雇に対する特別な保護等	事業主は、雇用する高年齢者等が 1 か月以内に 5 人以上が解雇等により離職する場合は「多数離職届」をハローワークに提出しなければならない 事業主は、解雇等により離職する高年齢者等が再就職の支援を希望する場合は、職務経歴などの高年齢者等の再就職に資する事項などを明らかにした「求職活動支援書」を作成し、高年齢者等に交付しなければならない	雇用における年齢差別禁止法： 上記の例外を除き、年齢を理由とする解雇を差別として原則的に禁じている	雇用における年齢差別の禁止： 上記の例外を除き、年齢を理由とする解雇を差別として原則的に禁じている	解雇制限法 (KSchG) による高齢者の解雇保護： 不当解雇された労働者が、元の条件で職場復帰できない場合、和解金が支払われる。対象者が、50 歳以上の場合、和解金が上乗せされる

注 1) 改正法の施行年月。60 歳定年制は 1995 年 4 月より施行。

2) ADEA: Age Discrimination in Employment Act of 1967.

3 就業構造

第 3-18 表 年齢に関する法制度等（定年等関係）（続き）

Table 3-18: Age-based legal mechanisms including mandatory retirement age (cont.)

	フランス	中国	韓国
定年年齢 等根拠法 令	労働法典 L1132-1 条（差別防 止に関する一般規定）など （注 3）	労働者の定年・退職に関する国 務院の暫定規則 高齢者・弱者・病人・障害者 の幹部の配置に関する暫定規則	雇用上の年齢差別禁止及び高 齢者雇用促進に関する法律
施行年月	2010 年 1 月に改正	1978 年 6 月	2013 年 4 月改正法成立
定年制	可（原則として、70 歳以上） ただし、一定の条件の下、67 歳 以上の定年設定が可能（注 4）。	可（男性 60 歳、女性 50 歳、 女性幹部 55 歳以上） ただし、1983 年に国务院の「高 度な専門家の離職・休職・退 職の若干の問題に関する暫定規 定」（第 2 条第 4 項）により、「学 術上の造詣が深く、国内・海外 で重要な影響力を持つ専門家」 については、国务院の承認により、 離職・休職・退職要件を一時 的に緩和し、研究又は著述活動 を継続して行うことができる	可（60 歳以上） 2013 年の法改正により、従業 員 300 人以上の事業所及び公 共機関は 2016 年より、300 人 未満の事業所は 2017 年より、 定年年齢を 60 歳以上とすること が義務化された
高齢者の 解雇に対 する特別 な保護等	整理解雇時における高齢者等へ の配慮義務： 企業が経済的な理由による解雇 （整理解雇）を行う際に定めな ければならない解雇の順番の基準 において、高齢者等の状況を特 に考慮しなければならない	—	「雇用上の年齢差別禁止及び高 齢者雇用促進に関する法律」に 基づき、解雇をはじめ、募集・ 採用、賃金及び賃金以外の金 品支給、福利厚生、教育・訓 練と配置、転勤、昇進、退職、 解雇などあらゆる分野で年齢を理 由とする差別が禁止されている

出典： 厚生労働省、アメリカ労働省 (DOL)、イギリス議会、ACAS、ドイツ法律データベース及び労働社会省 (BMAS)、フランス法律データベース (Legifrance) 及び労働省等、中国国务院、韓国雇用労働部、各ウェブサイト。

注 3) 「差別禁止に関する法律 (LOI n° 2001-1066 du 16 novembre 2001 relative à la lutte contre les discriminations)」により改正。

4) 公共サービスサイト (L'employeur peut-il mettre d'office un salarié à la retraite ?), Vérifié le 18 novembre 2022 - Direction de l'information légale et administrative (Premier ministre)。